昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和46年1月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

# バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no.17
1971
january



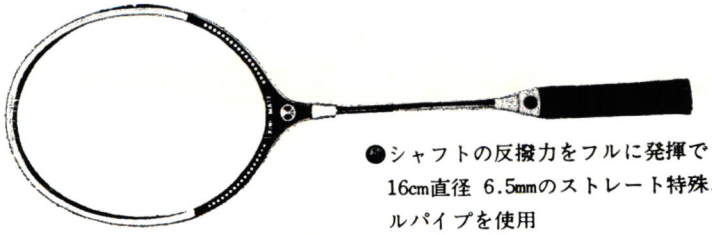
# 反撥力 抜群！

ストレート特殊スチールパイプで
シャフトの効果が倍増されました
あなたのプレイが注目の的です

## 新製品 No.3500 キングメイト

# KING MATE





●シャフトの反撥力をフルに発揮できる全長16cm直径 6.5mmのストレート特殊スチールパイプを使用

●小銀杏構造と輸入木材を基にした革命的な特殊合板でバランス、耐久力は抜群

サンバタ
株式会社 諸江製作所 東京都渋谷区笹塚2丁目46番8号
電話(377) 4401(代表)

# 用具難の仲間を援助しよう

## 愛読者の皆さまに訴える

明けまして、おめでとうございます。

新年に当たり「バドミントン界」は、愛読者の皆様に〝沖縄に愛の手を〟の運動を提唱、ご協力を得たいと思います。

ご承知のように、沖縄は七二年に〝本土復帰〟が実現、その次の年には、これを記念して、日本政府、スポーツ界協力のもと〝復帰記念スポーツ祭〟（いわゆる沖縄特別団体）も行なわれる予定です。この実施競技の中には、もちろん、バドミントンも含まれております。

## 〝復帰〟近い沖縄に愛の手を

### 「バドミントン界」は提唱する

しかし、残念なことに、沖縄におけるバドミントン競技の普及、発達は、かなり立ちおくれております。

その主な原因は、すでに本誌が二度にわたって紹介したように、指導者、施設、用具不足の三つとなっています。

このうち、私たちが、いま沖縄に協力できのこと、それは用具類の援助です。

シャトルが高い、入手難である、というのは本土でも事実ですが、沖縄では、本土以上に事情が悪い点は、容易にご理解いただけると思います。

そこで本誌は、愛読者の皆様のご協力を得て、用具を提供していただき、これを沖縄協会に贈ろうと考えます。

用具はラケット、シャトル、カバー、プレス、ガット等なんでもけっこうです。また現金、手紙、絵などでも喜んでお受けします。多少にかかわらず、ふるって、お寄せ下さい。

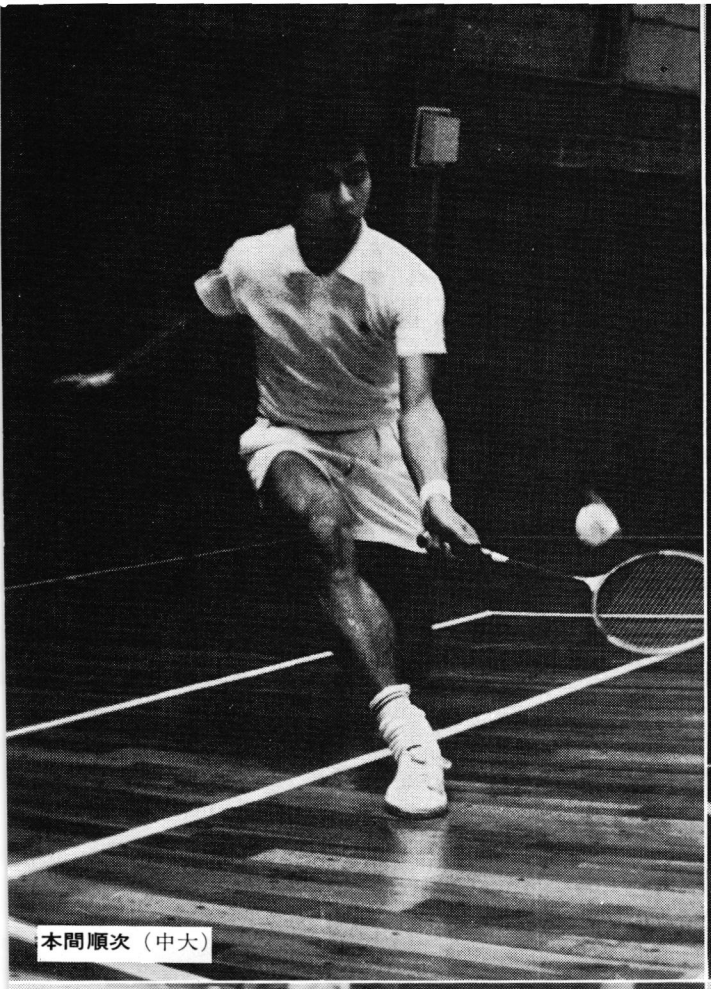
皆様への呼びかけと平行して、本誌は日本バドミントン協会はじめ関係各団体、業界各位にも協力をお願いする予定です。

お贈り下さるさいは、住所、氏名、年齢、職業（学校学年）を明記して下さい。

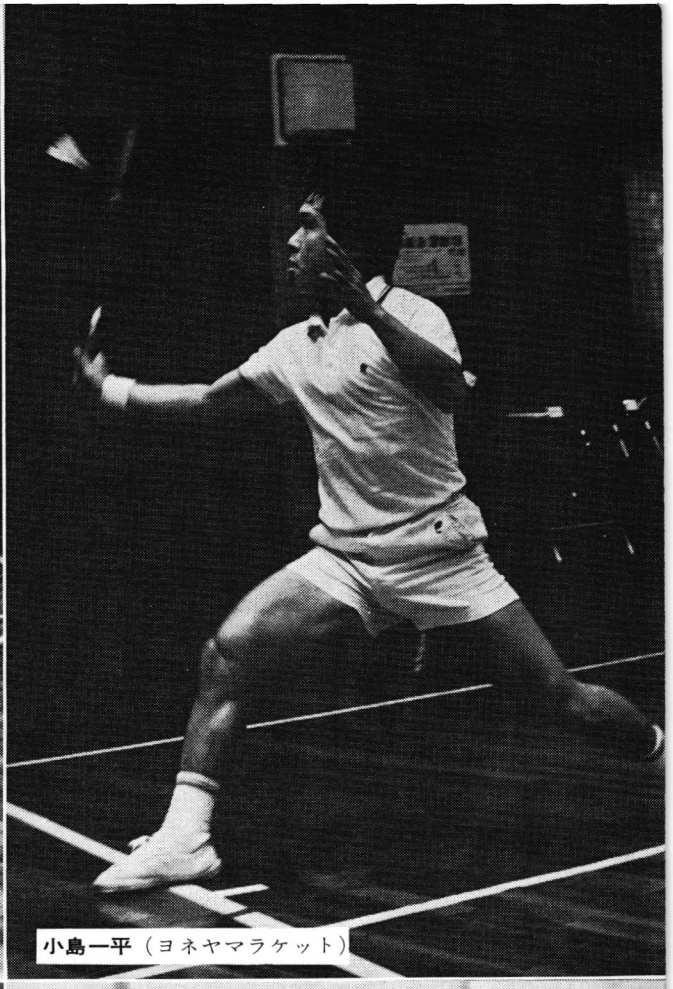
あて先きは本誌巻末の日本協会内で「バドミントン界」編集部。しめ切りは四月末日をメドといたします。寄贈者名簿は、すべて本誌上に発表します。

昭和四十六年一月一日

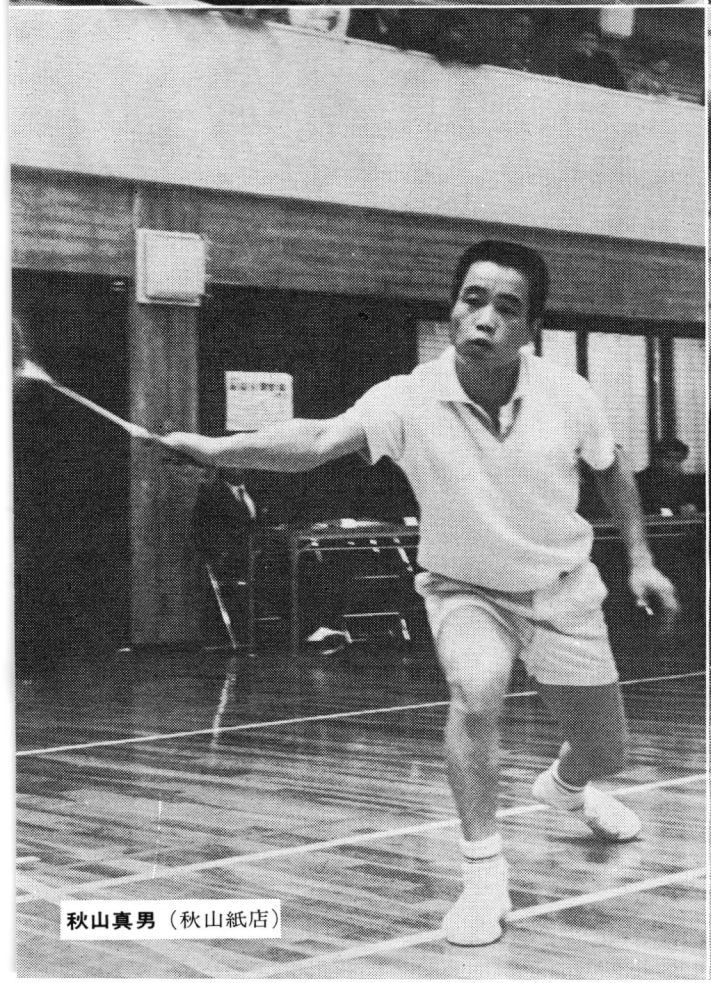
「バドミントン界」



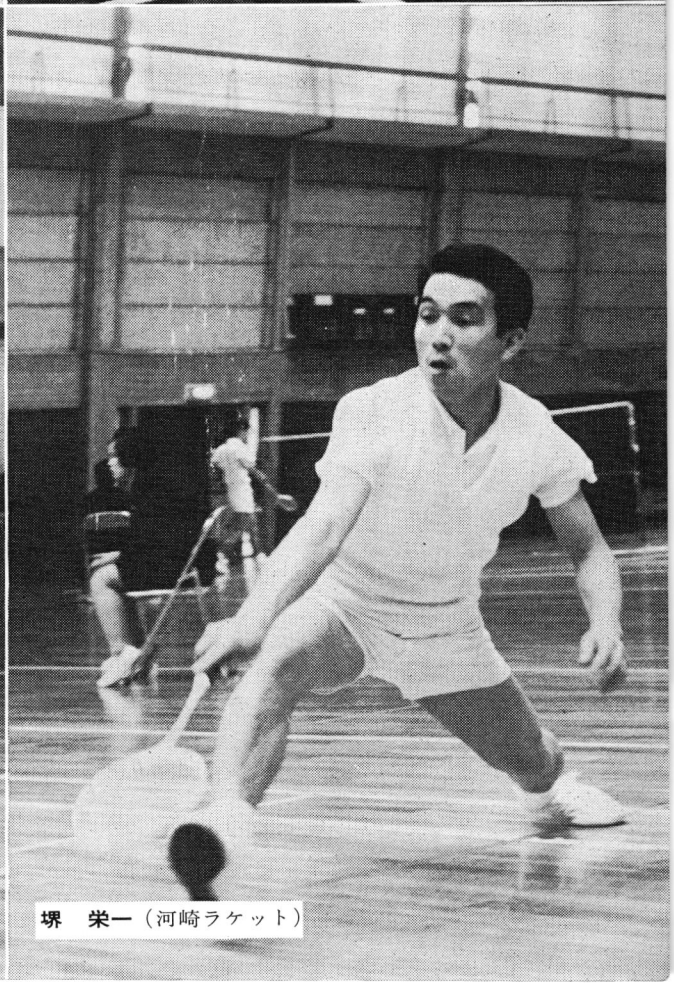
**本間順次**（中大）



**小島一平**（ヨネヤマラケット）



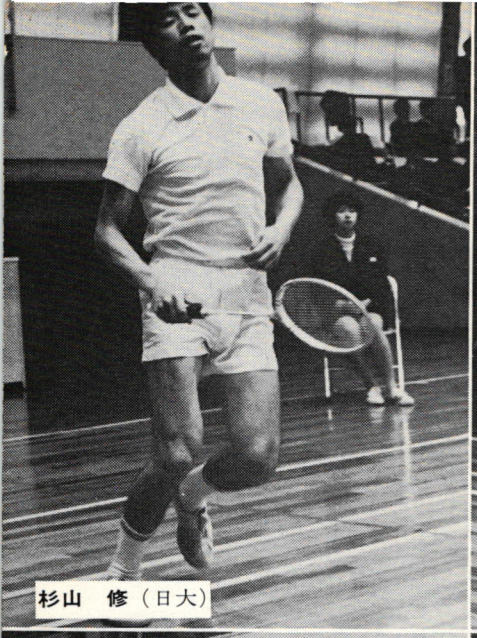
**秋山真男**（秋山紙店）



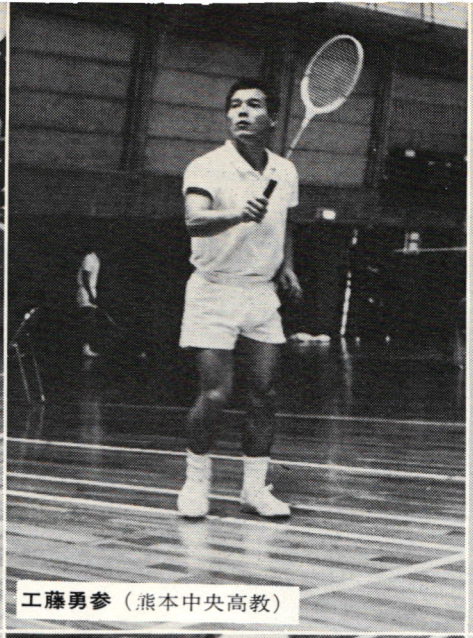
**堺　栄一**（河崎ラケット）

# 日本を支える選手たち

（男子）



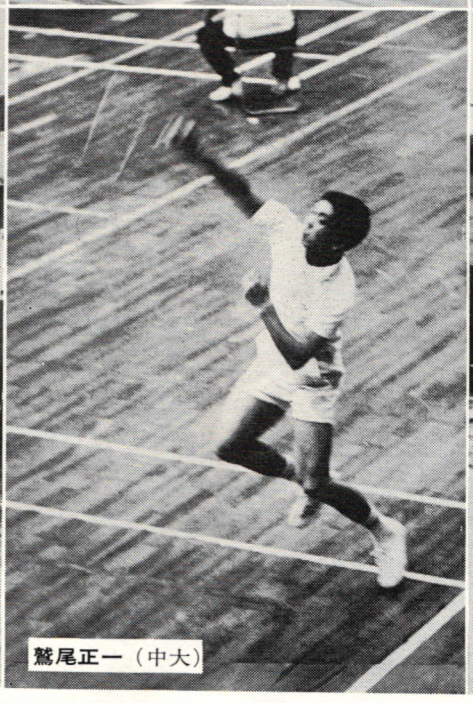
杉山　修（日大）



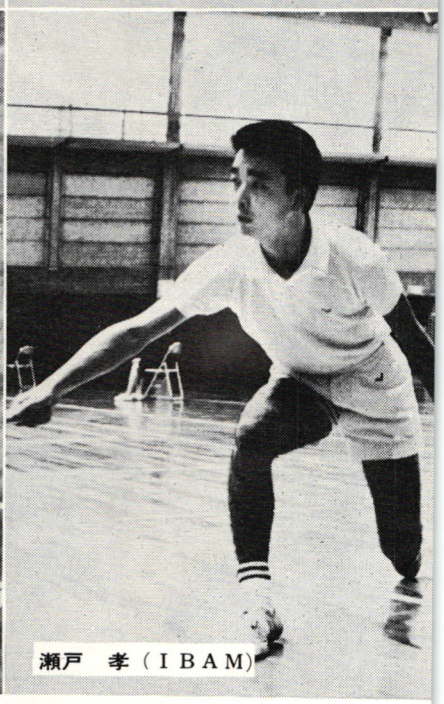
工藤勇参（熊本中央高教）



坂本聖二（カローラ神奈川）



鷲尾正一（中大）

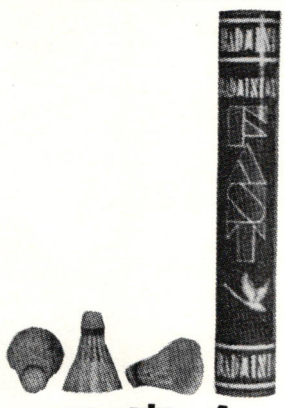


瀬戸　孝（ＩＢＡＭ）


水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー



ファスト印シャトルコック製造発売元　有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7-28

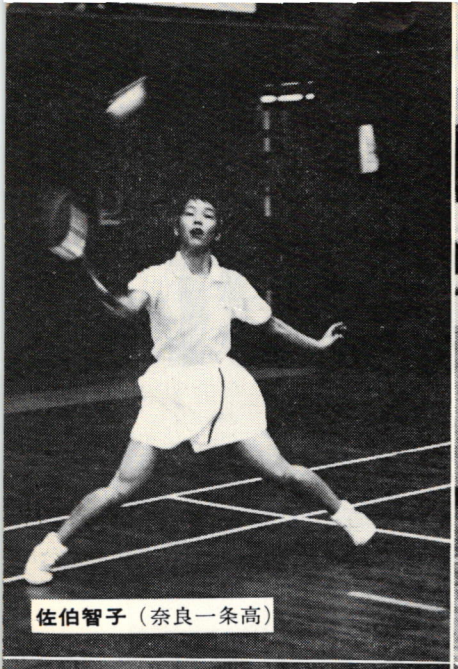
電話 02362（2）3994

# 日本を支える選手たち

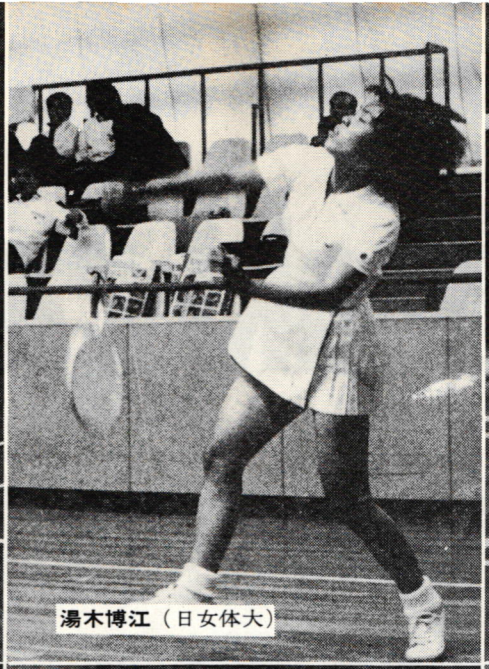
（女子）



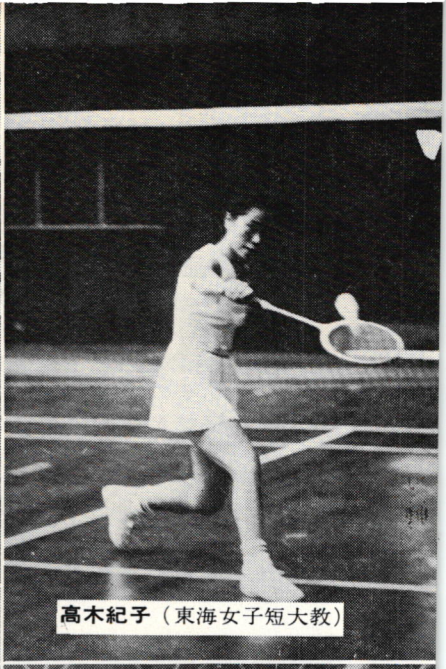
相沢マチ子（ヨネヤマラケット）



佐伯智子（奈良一条高）



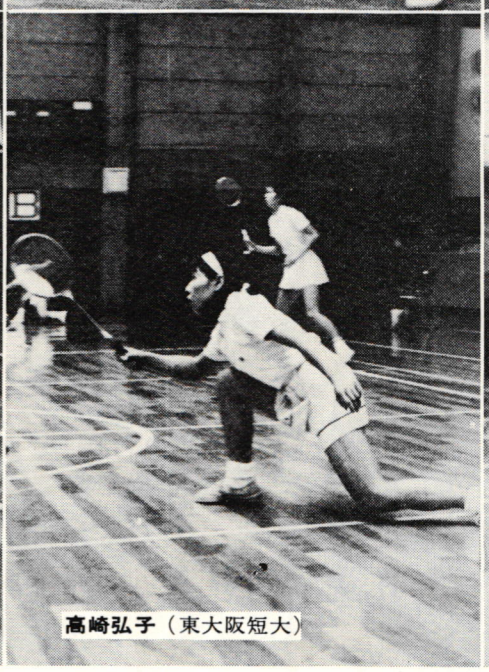
湯木博江（日女体大）



高木紀子（東海女子短大教）



竹中悦子（ヨネヤマラケット）



高崎弘子（東大阪短大）



柴山きよ子（東大阪短大）

## 日本バドミントン協会検定合格ネット・メーカー

| | | |
|---|---|---|
| 松本製網株式会社 | 大阪府八尾市福万寺町4-72 | TEL 0729 (2) 3217 |
| | ◎ 20／12　倉敷ビニロン（MATVMOTO） | |
| 鐘屋産業株式会社 | 東京都文京区本郷3-17-2 | TEL 03 (811) 3773 |
| | ◎ ナイロン　A級　◎ 綿　B級 | |
| （株）寺西喜商店 | 大阪府八尾市福万寺町4-31 | TEL 0729 (2) 3210 |
| | ◎ バドミントン・ネット　C検定 | |
| （株）ジイティヤング | 本社　大阪市南区東平野町2-25 | |
| | 支社　東京都墨田区本所1-36-2 | TEL 03 (623) 7155 |
| | ◎ 20番手　12本クレモナビニロンテトロン引紐 | |
| | ◎ 20番手　12本綿　テトロン引紐 | |
| | ◎ 20番手　12本綿　クレモナロープ引紐 | |
| ミセキネット製作所 | 埼玉県北葛飾郡幸手町中1-7-4 | TEL 04804 (2) 0379 |
| | ◎ ミセキ　VA　◎ ミセキ　A | |

# kawasaki racket

ラケットの名門カワサキ

長い歴史と抜群の技術は世界が認めるところ、にぎった瞬間にわかるバランスのよさ、その確かな手ごたえ……もちろんチャンピオンも使っています。

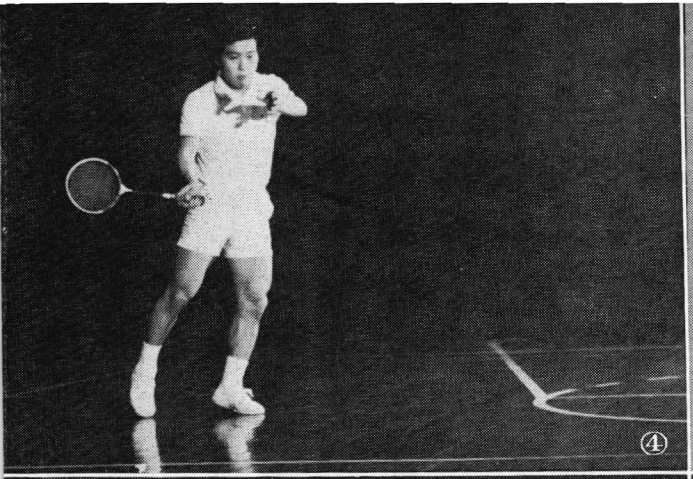




# 目でみる技術講座

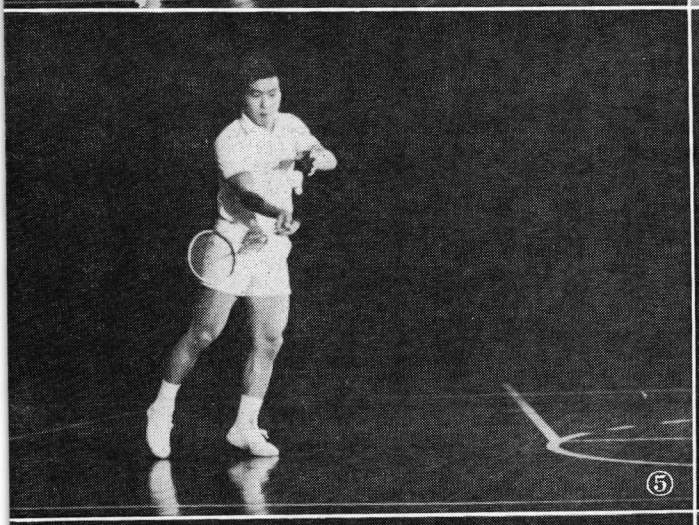
〈連続写真による基本ストローク〉

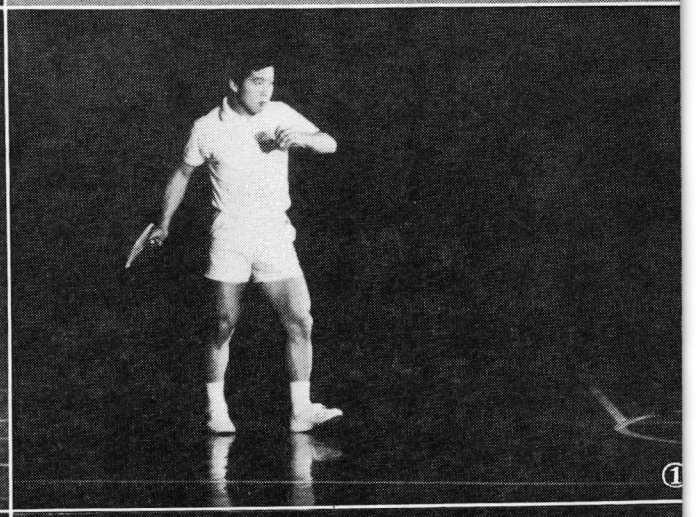
モデルと解説
小島一平
本間順次
竹中悦子
相沢マチ子
★★
監修
川端昇市
坂垣隆房
まとめ
秦浩

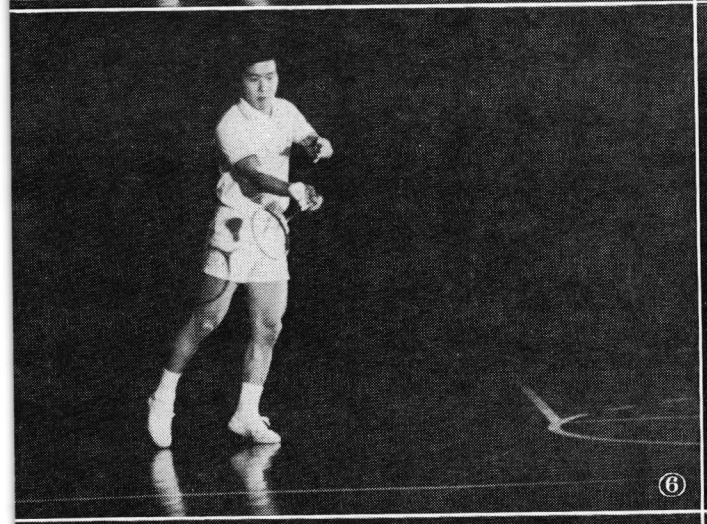


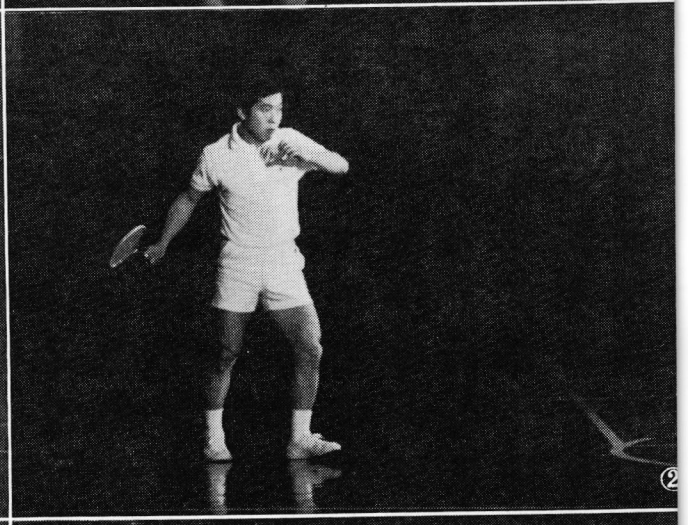

# 目でみる技術講座

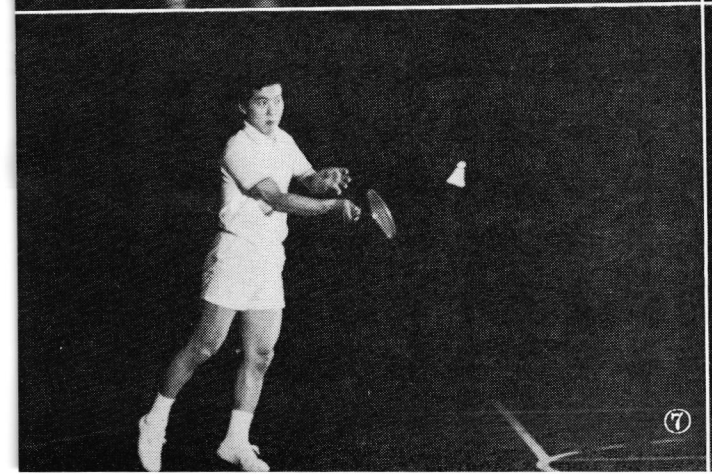
〈サービス〉

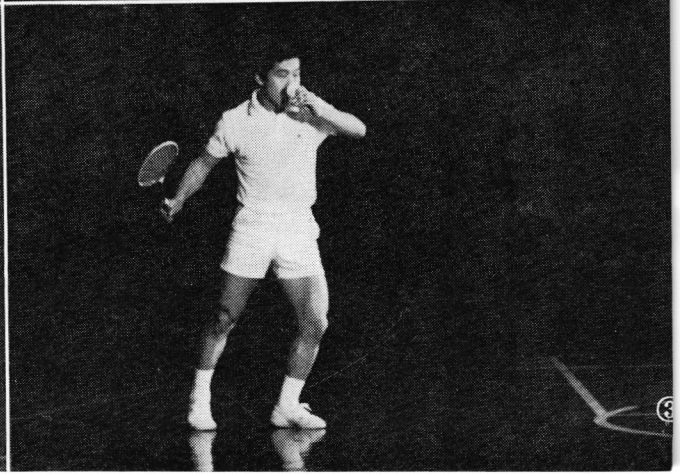


## 解説

①サービスの態勢に入った時、右足に重点を置き左右は軽く床を踏む程度に体のバランスを保ち、上半身は楽な姿勢で左手にシャトルをささえる様にして持ち右手にもったラケットを振り上げる態勢に入るこの状態の時は相手の位置をよく見定めていなければならない。

②ラケットを徐々に振り上げると共に右足に置いた体の重心を左足に移すようにする。自の位置は相手のレシーブしようとする動きをたしかめ、ショート、ロング、或いはドリブンとサーブの種類の内、その中で最も適したもの一種を考え決断をおろす。

③体の重心はほぼ左足にかかり、ラケットはシャトルを完全に打ち上げられる位置に保ち、シャトルを持った左手の連携動作を考え目はシャトルの上に落す様になる。

④体の重心は完全に左足に移り上体はやゝ前方に傾く様にして左手にもったシャトルを軽く離す。ラケットは体に引きつける様にしてシャトルの落下する速度とラケットの打点を考えサービスのストロークの種類によって力の配分、手首の角度を考える。

⑤シャトルの落下にともない、ラケットを持つ右腕の位置は完全に静止し、あとは手首の動きによってシャトルの打点を定める。上体はややそり身になり目はシャトルの動きを正確に見定める。

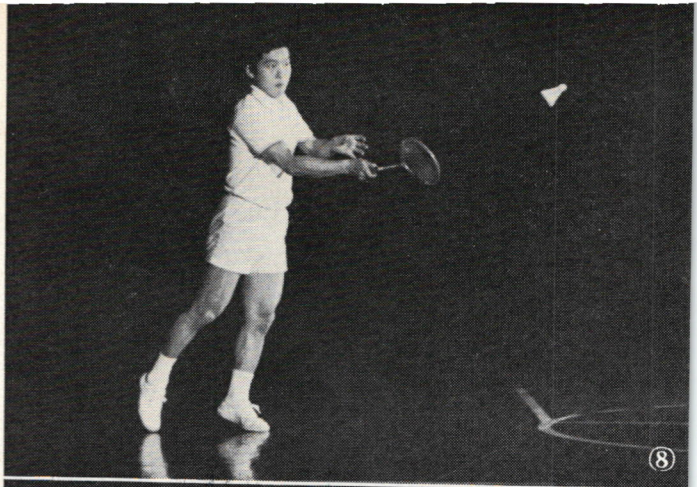
⑥シャトルとラケットの打点が完全に整った状態。この時には相手が次の動作に移ろうとする逆をつくように手首の動きを考えなければならないが、ショートサービスの場合はラケットの角度をやや浅めにシャトルを押す様な感じで手首の力を抜いて打つ。

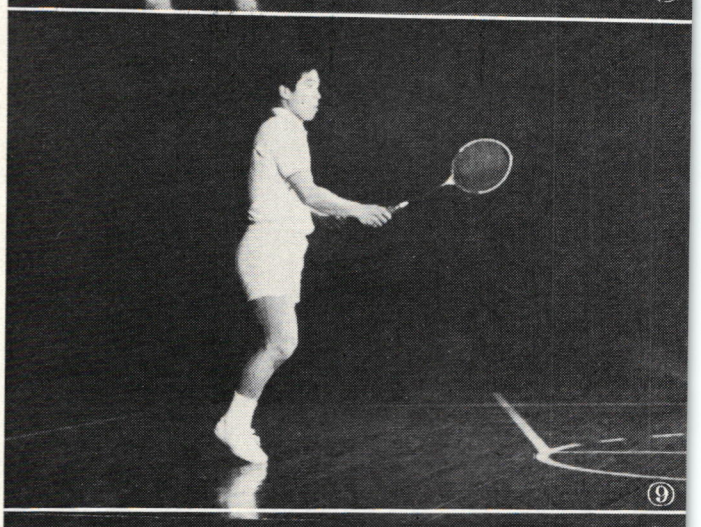
⑦シャトルがラケットから離れた瞬間、目はシャトルの動きを追って相手の動作の方に移す様にする、手首は逆にかえすことなく、むしろ腕で押すような気持が必要である。

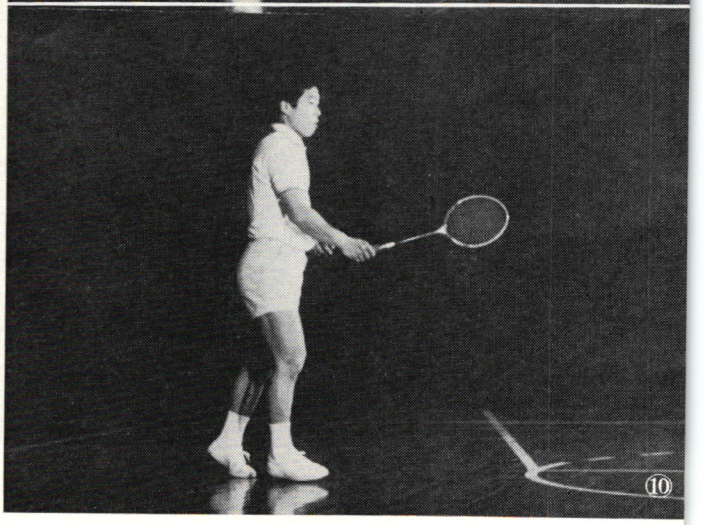
⑧態勢は左足のつま先にかかり腕の位置はそのまゝにして、むしろ相手からのリターンされるシャトルのコースを読んで機敏に動ける態勢を整える。

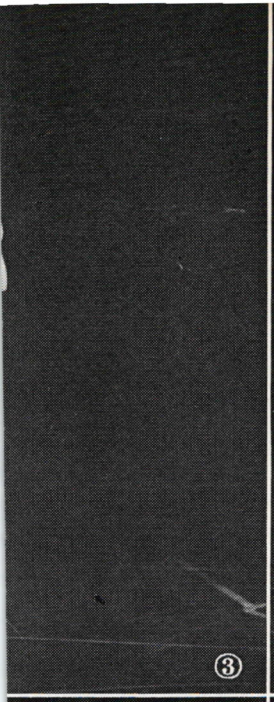
⑨今迄右向きになっていた態勢をラケットの動きにともなって相手の正面に位置し両足に体のバランスを置くようにする。

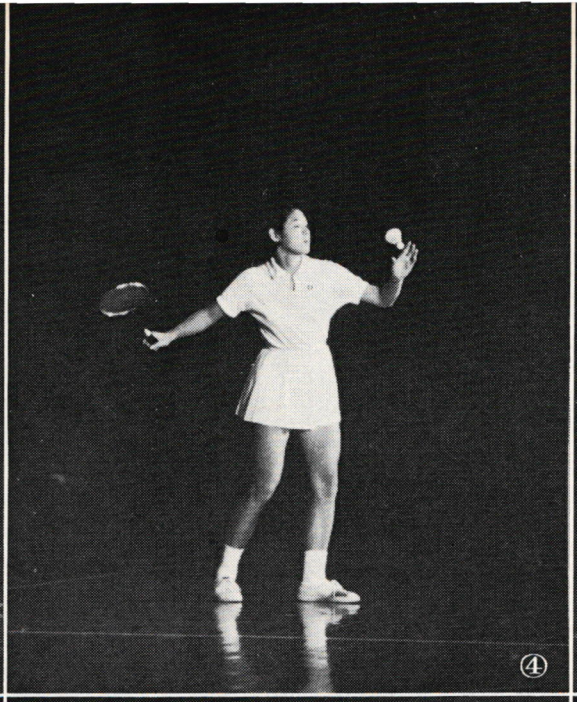
⑩完全にレシーブ態勢に入った状態でラケットはどの位置にシャトルをつかれても打ち返せるように正面に構えて相手の動きを見定める。

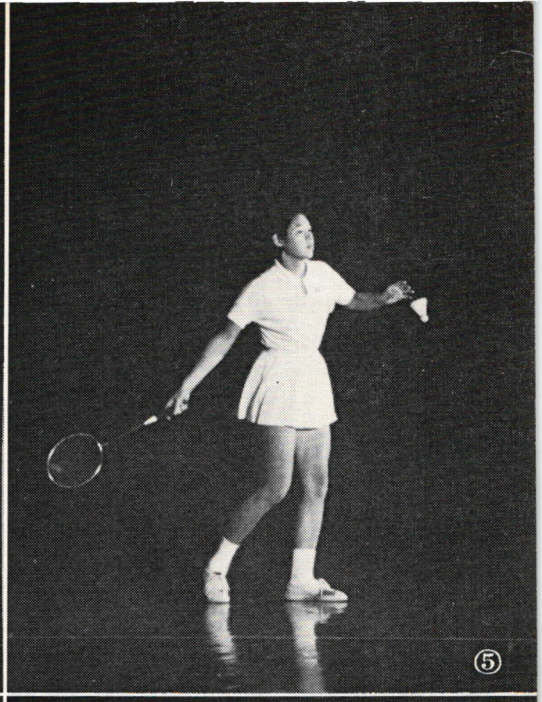

⑧


⑨


⑩


③


④


⑤

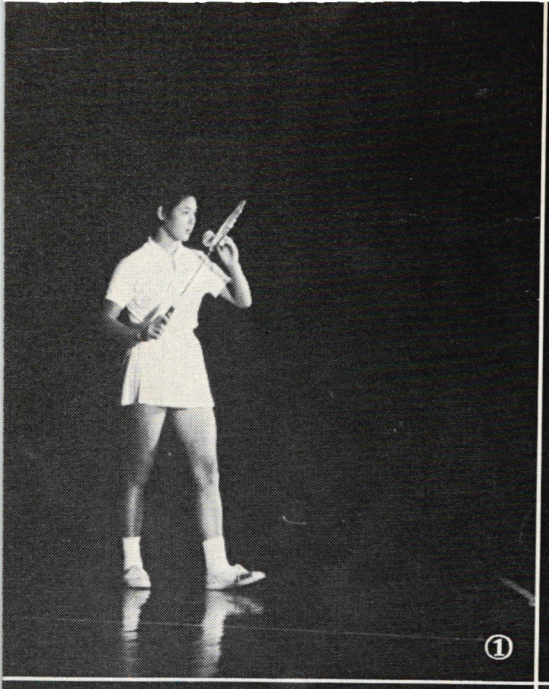

⑧


⑨


⑩

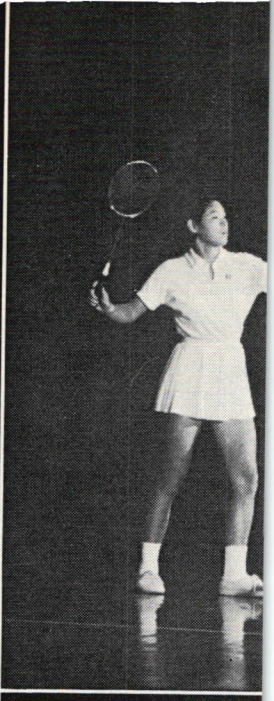
# 目でみる技術講座

〈ロングハイサービス〉





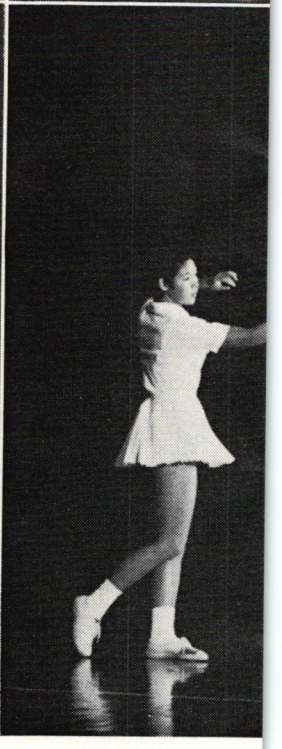












## 解説

①サーブはポイントにつながる重要なもので慎重に打つ。自分の最もあうスタンスを定めしっかりと腰を安定させる。相手をしっかりと見つめる。

②右足から左足へ重心を移行しシャトルは目の高さに、ひじは後ろへひいてグリップは軽く握る。

③②に同じ。

④ショットの瞬間にスナップを十分にきかせてバックスイングから思いきり前へ押し出す。

⑤打つとき腰を前へ出すようにする。オーバーウエストにならない地点でヒットする。

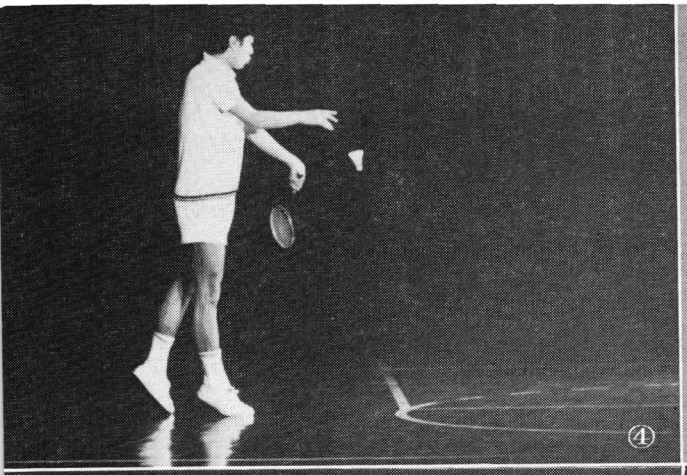
⑥アンダーハンドからのスナップを十分にきかせてフルスイングする。右ひじを曲げないようにする。

⑦ロングハイサーブはエンドラインぎりぎりを狙って打つ。

⑧～⑨ショット後のフォロースイングは完全に脱力して次の球を読む。

# 目でみる技術講座

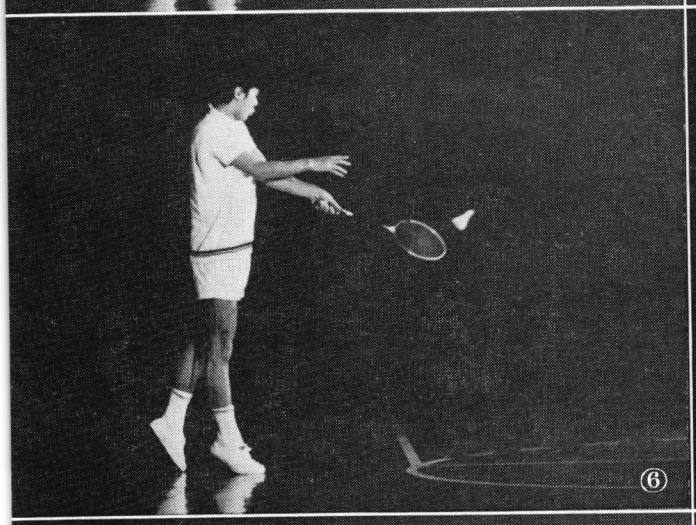
〈サービス〉

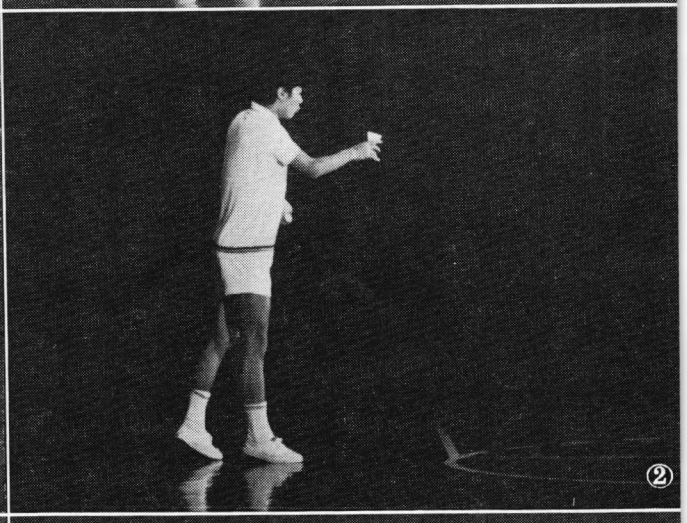


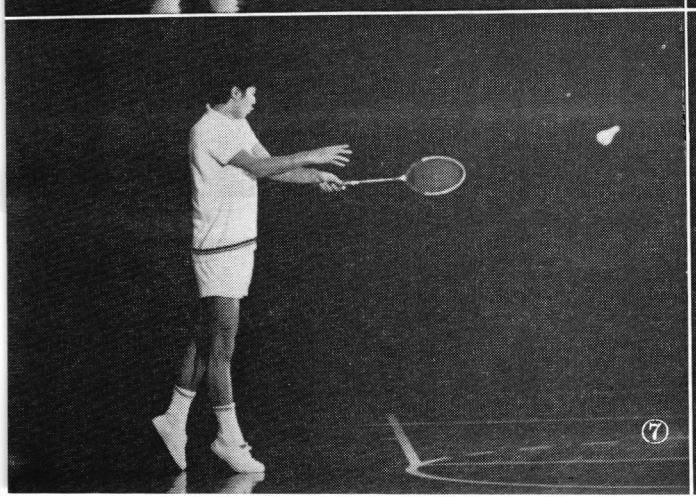


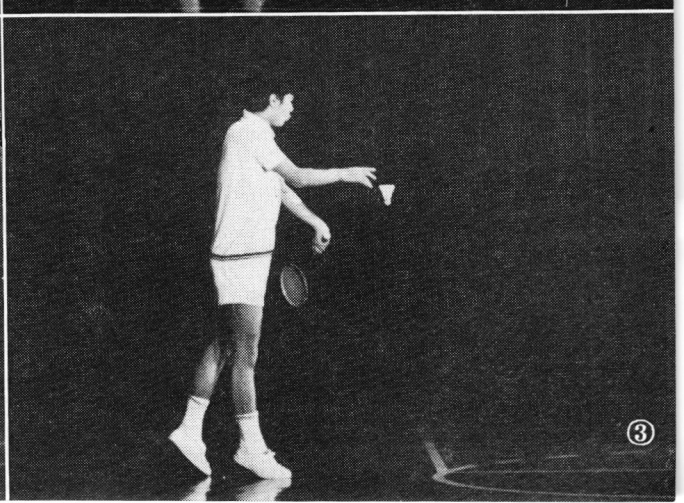


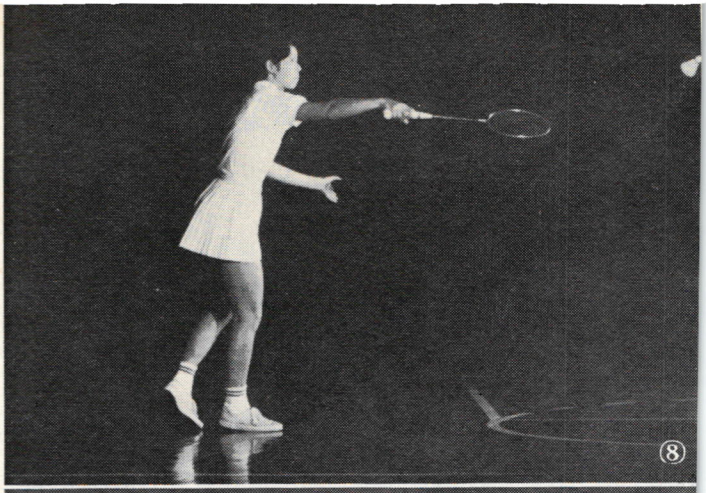





## 解説

①サーブを出す前に相手がどの位置にいて、どこが空いているか弱点があるかを探る。

②サーブをおくる場所が決ったら、自分がおくる場所を見抜かれぬようストロークに気をつかう。

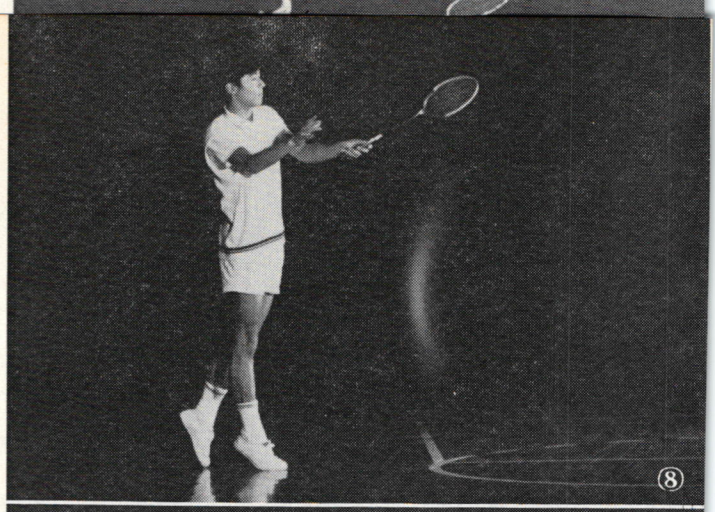
③体の重心を左足から右足に移し、体のバランスを保ちながらサーブの動作に入る。
あくまでも目は相手を見ている。

④シャトルを打つ前でも目は相手

⑤シ：ス相手

⑥シばまラ

トろのけグが




## 解説

①ショートサービスと同じ構えで、相手の弱いコースを判断し相手の呼吸をはずすことが大切である。
重心は左足に、目は相手を見ることにより前記のことを判断する。

②自分の打つコースを決め、全神経はシャトルに集中する。
目の位置はシャトルへ、重心も右足へ移行する。

③シャトルを床に垂直に軽く落す、この場合は落すというよりは離すという感じで、打点を高くする為に、つま先き立ち。

④③と同じ。

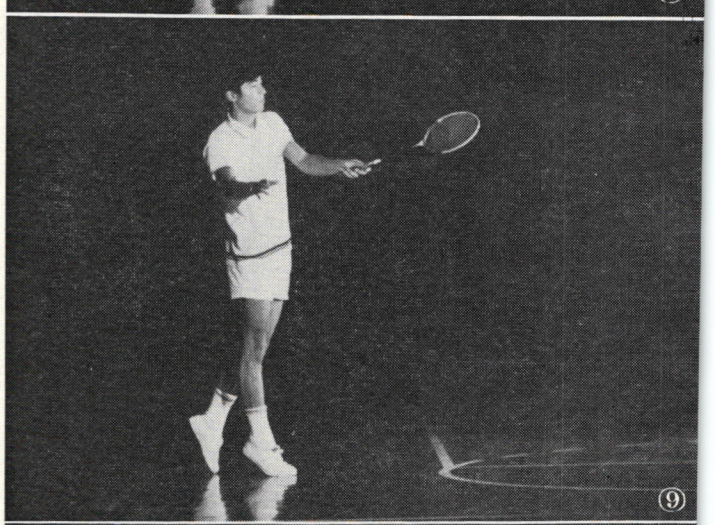
⑤体のバランスは前と同じく、ストロークは手首を固定し、シャトルを送り出す気持で。

⑥⑤と同じ

⑦打ち出したラケットは次の動作の為に上に移行。

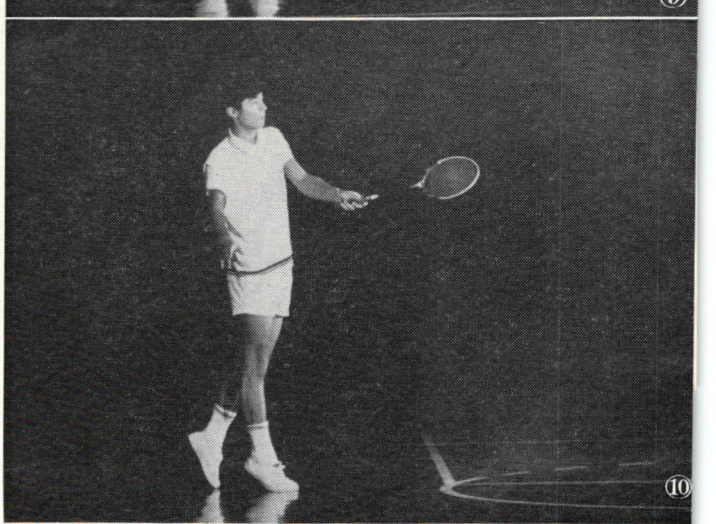
⑧この時点では目の位置は球のコースと相手の動きを見ている。

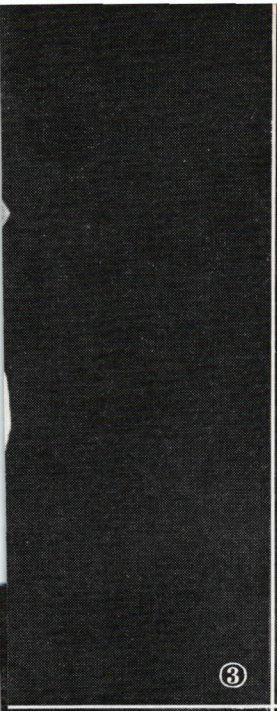
⑨上半身は次の動作の為に前へこれから切り返しの動作には

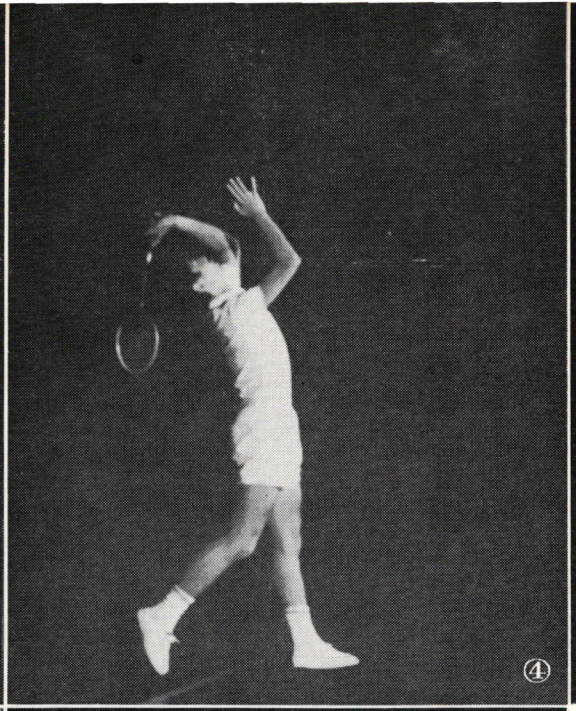


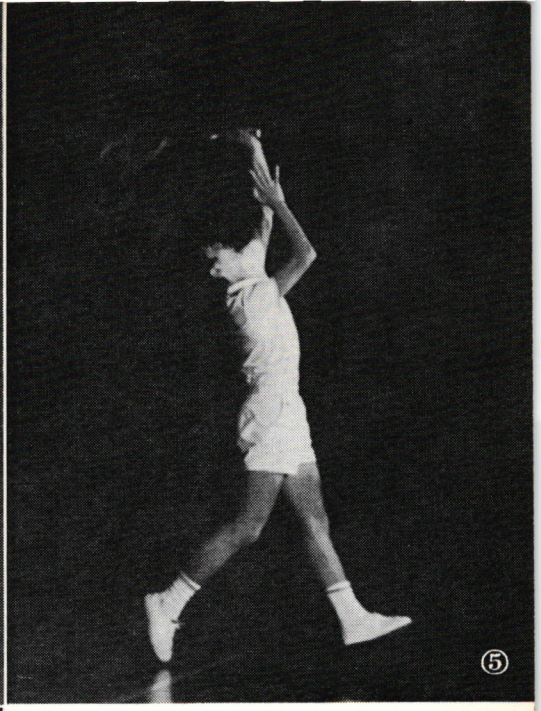

いる。

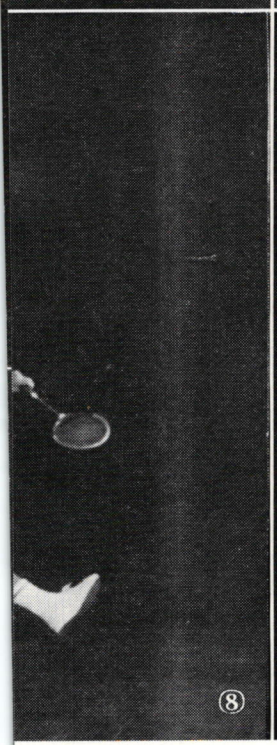
⑩ドリブンサーブは多用するサーブでなく、相手をけんせいする意味のもので常にショートサーブと同じフォームから打ち出すことが大切である。

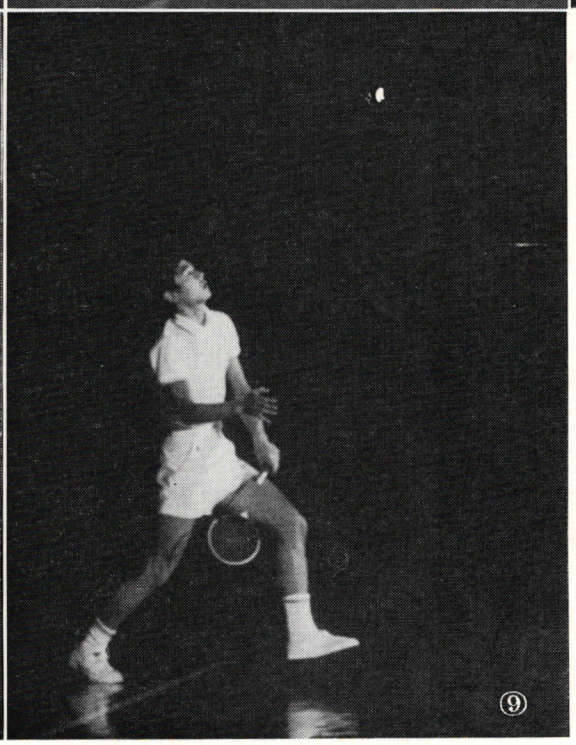



③


④


⑤


⑧


⑨

# 目でみる技術講座

〈ハイクリア〉

## 解説

P16～17

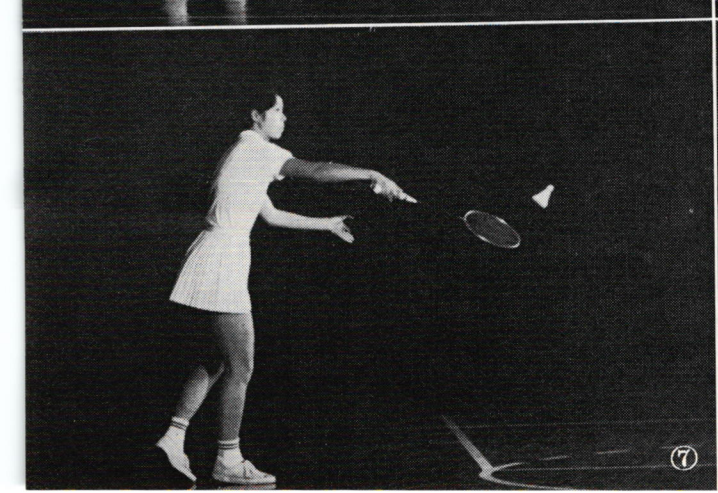
①球の落下点に早くはいり、上半身の力を抜き右手は打点の安定性の為のフォロー的役割をする。

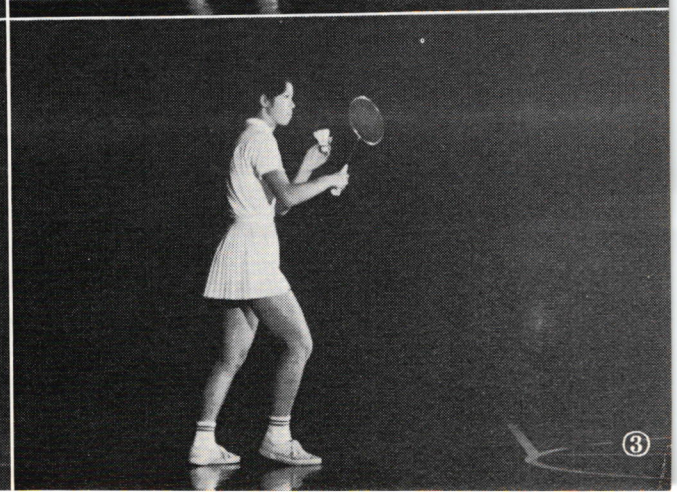
②ひざを曲げ打ち上げの動作に入る。右手のひじの角度は常に90度に保ち、左手は垂直に軽く、グリップも軽く握っている。

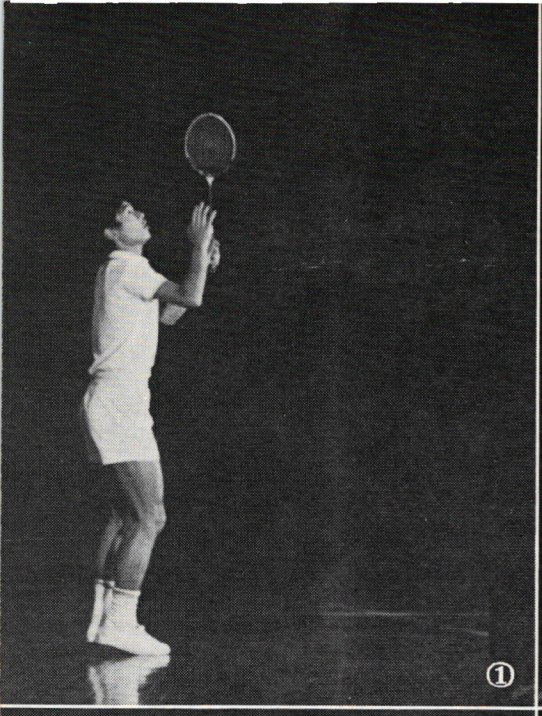
③腰を中心に弓の竹の部分の様に体を曲げる。左手は右手の指先より少し上の部分、最終打点を仮定し動作する。

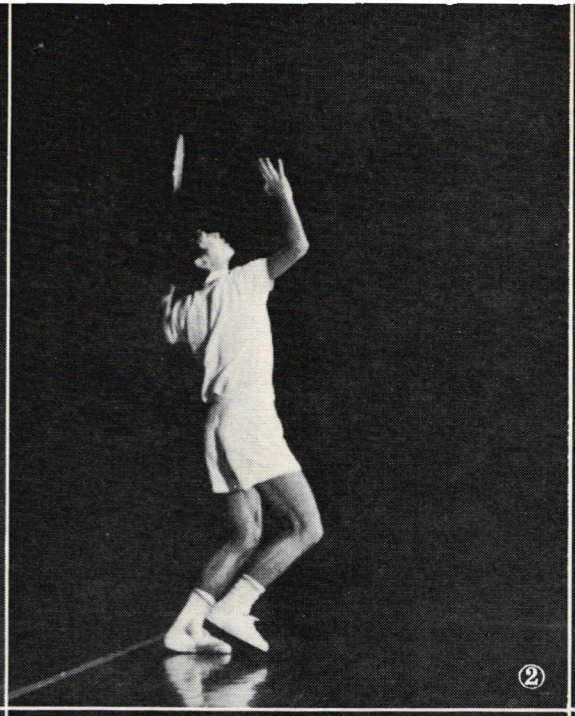

⑥

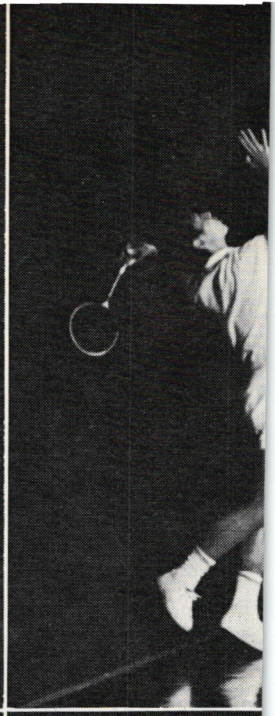

②


⑦

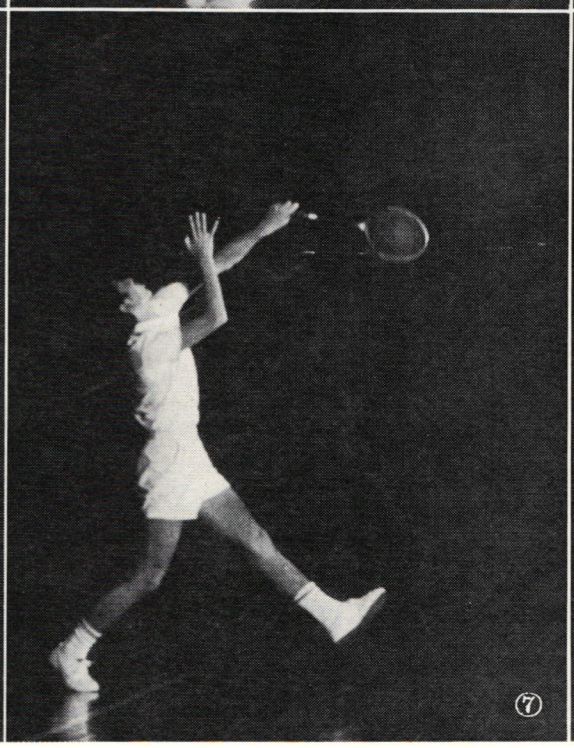

③

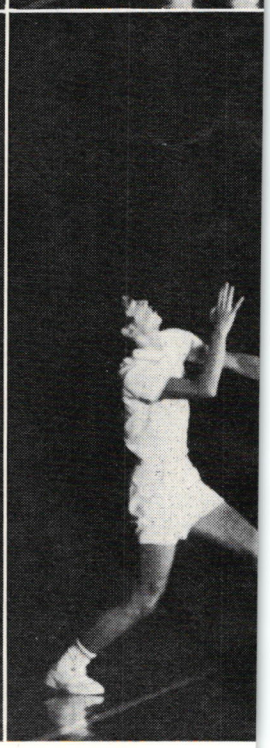




④右足をより弓なりにする為に動作する。左手を最高に反発できる様にひきつける。体の重心は左に置いておく。

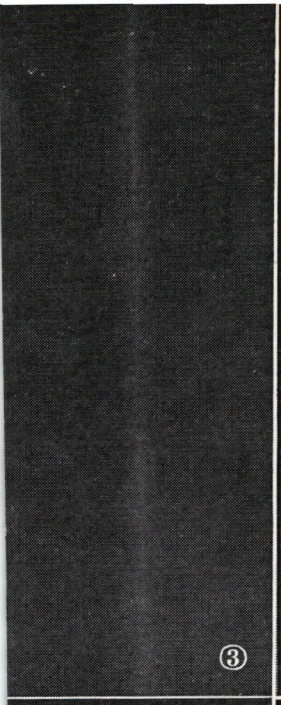
⑤重心はこの時点では左足から右足へ移行している過程である。ラケットは前写真より出発し、打点に向って移行、右手は常にバランスをとり又、打点を安定させる為にも大切である。

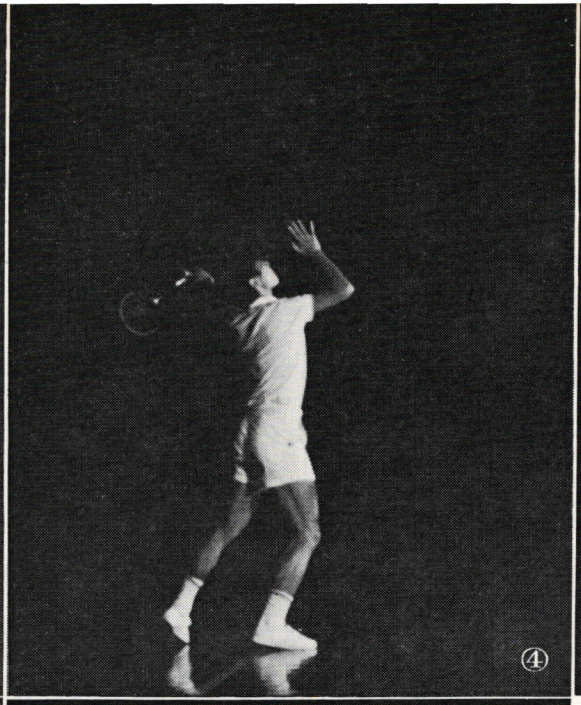
⑥重心は右足に置き左手のひじは完全に伸びきってこの時点でいままでためていた力を出す。左足は次の動作の為に動く。

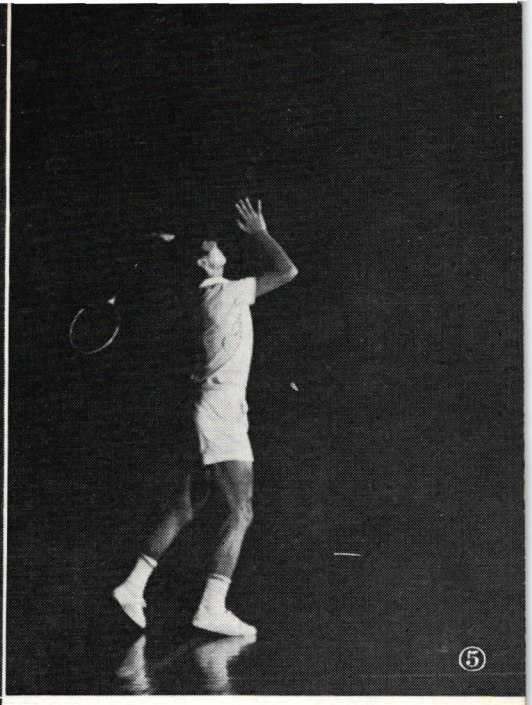
⑦打ち終った後での動作で、弓なり状態から踏込みの態勢にはいる。目の方は常に球を追っている。

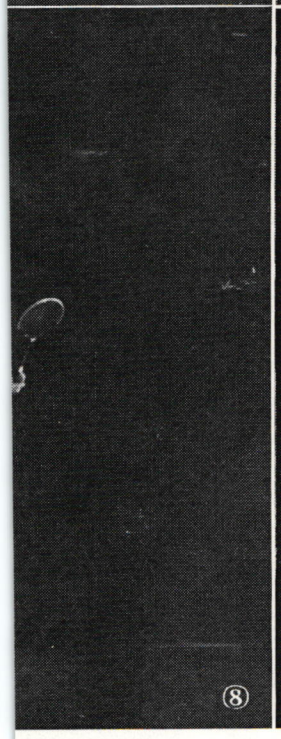
⑧完全に踏込みの状態で、ホームポジションへ向って動作する。右足の重心には最後の力がはいり、足首の角度は90度に。

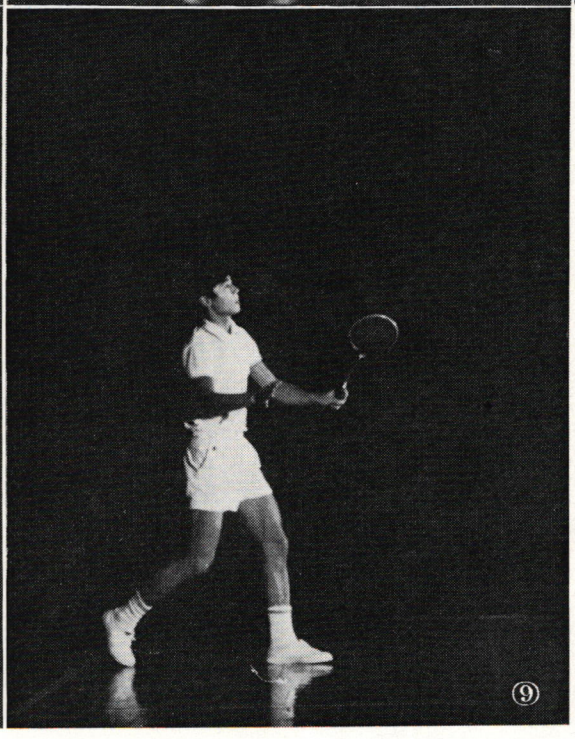
⑨ハイクリアの場合はバドミントンの基本動作であり、この動作からカットとスマッシュetc…が発生している。シングルスの場合は特に重要なストロークである。


③


④


⑤


⑧


⑨

# 目でみる技術講座

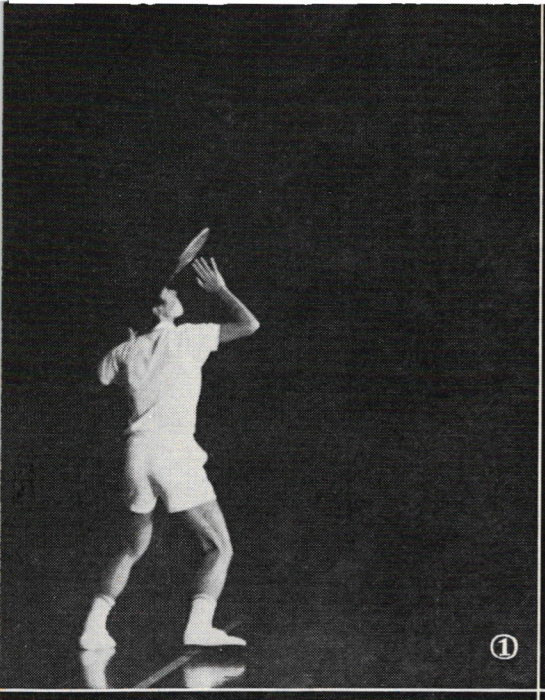
〈ドリブンクリア〉

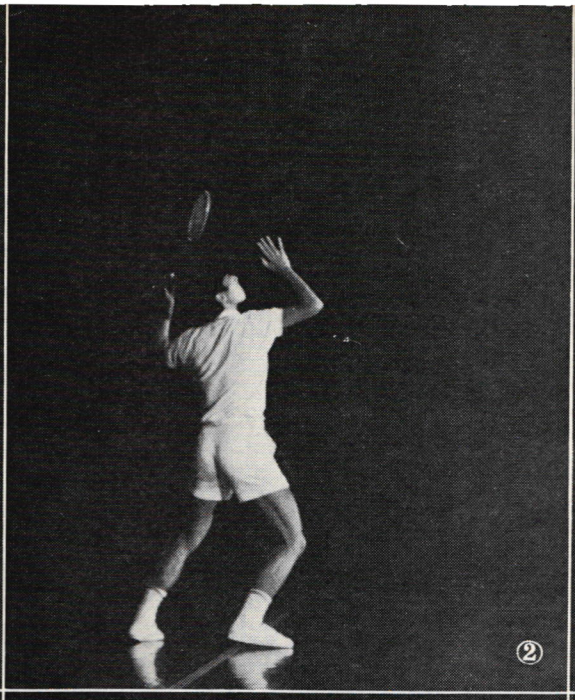
## 解説

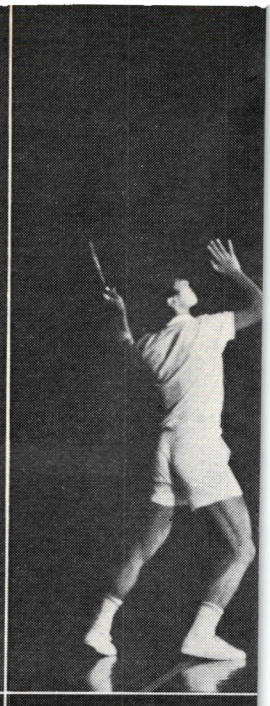
P 18～19

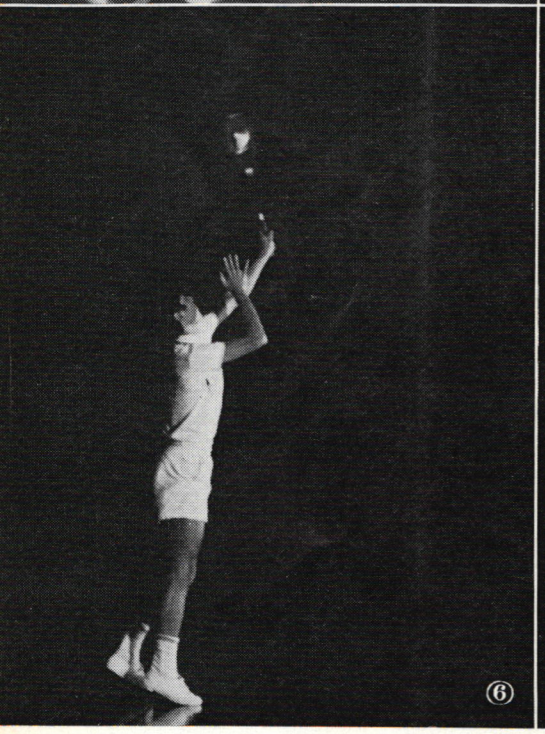
①ドリブンクリアの場合は攻撃的要素の強いストロークでハイクリアの場合よりも早く球のコースを読みより早く打球の下へはいることが大切である。

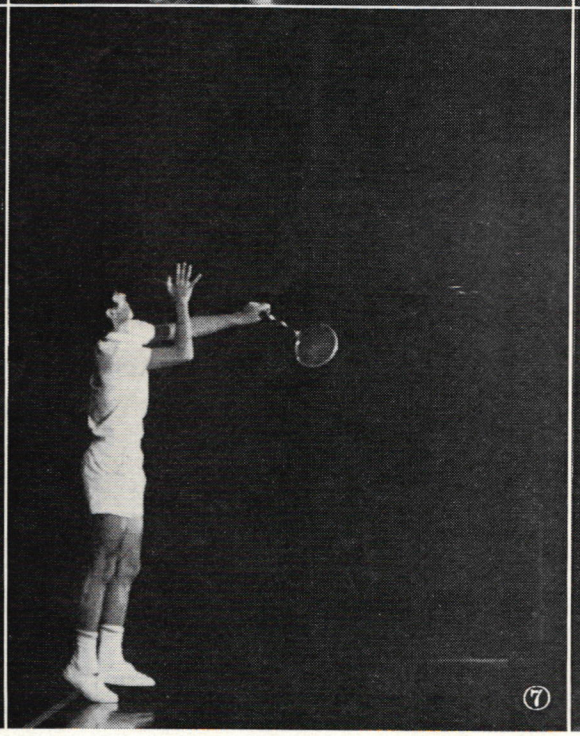
②スタンスはハイクリア程広げず手首を中心としたストロークで打つ。この時では打点の下にはいりこんで、右手でバランスをとり、体全体はリラックスしている。








③この場合もハイクリアよりも体全体としては弓なりとならず、ひじ、手首を中心として運動している。

④重心は右足に打出しの態勢にはいっている。ラケットの手首との角度が90度に近くなっている。

⑤④に同じ。

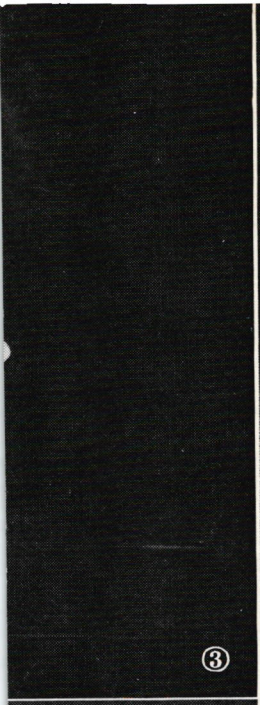
⑥ハイクリアのフォームのこの時点と違い手首を中心としたストロークで体全体は床に対し垂直に近い。左ひじは完全に伸びきっている。

⑦ヒットした後のフォローで重心は右足から左足へ移行中である。

⑧打ち出した球が攻撃である為、より早く次の動作へ移行の為、左足が自己のホームポジションに向って始動している。ラケットも無意識的にあがっていなければいけない。

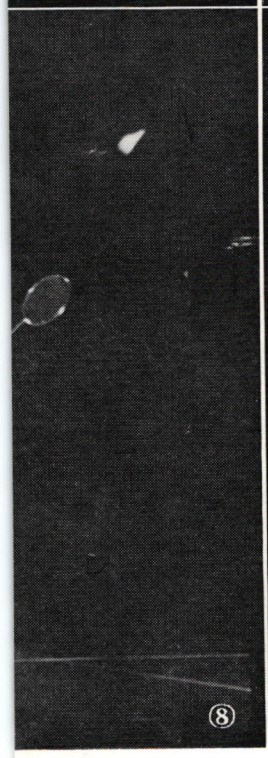
⑨ドリブンクリアは、ハイクリアの一種であり、常にハイクリアと同一フォームで打ち出すことが大切である。フェイントとは同一フォームから多様に打つことだと自分では思っている。

このストロークもシングルスで効果を発揮する。

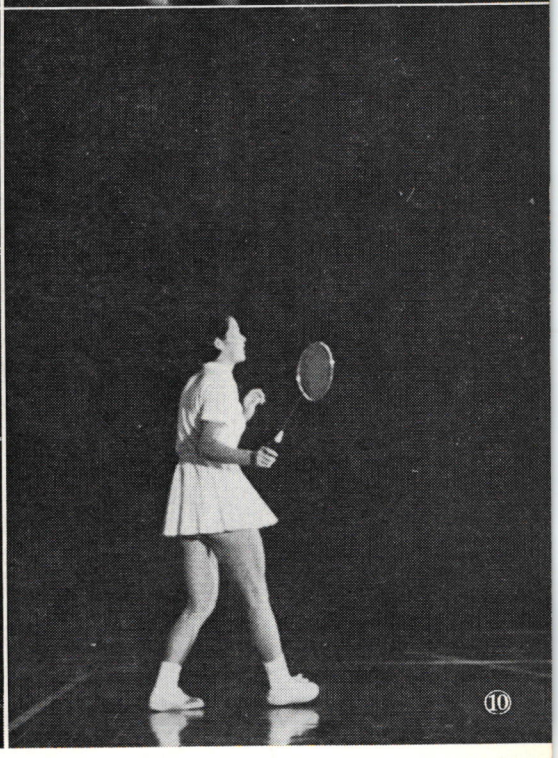

③


④


⑤


⑧


⑨


⑩

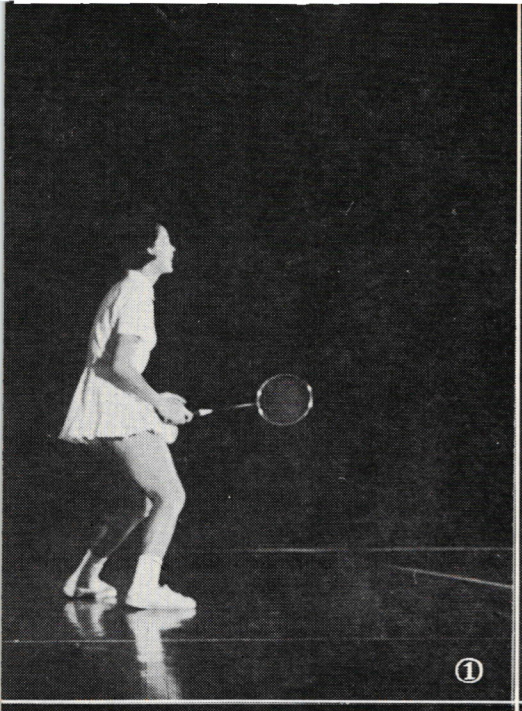
# 目でみる技術講座

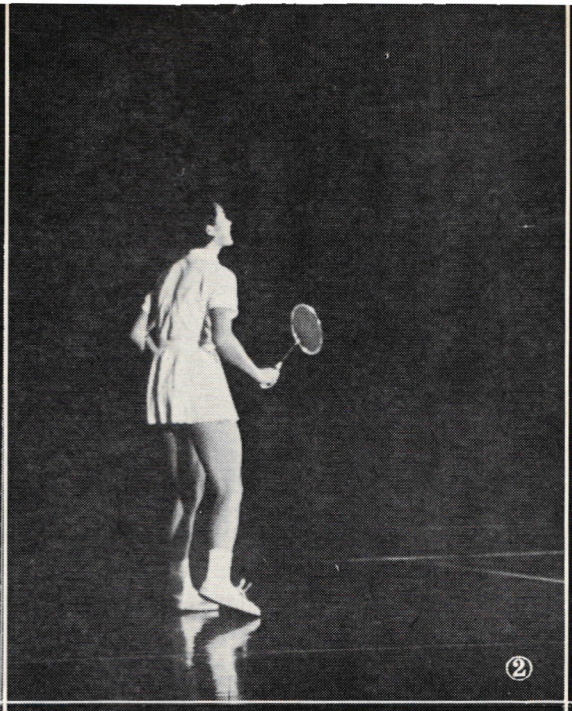
## 〈ハイバックストローク〉

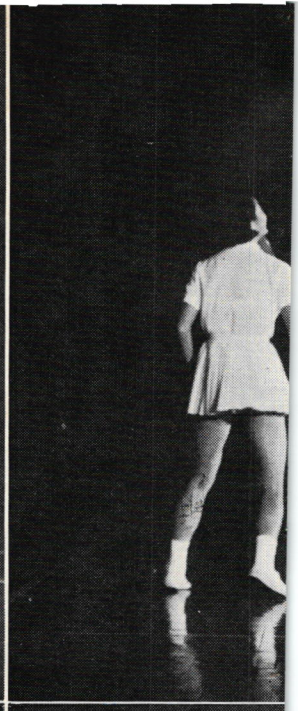
### 解説

①ハイバックは、ラウンド・ザ・ヘッドストロークで間に合わないときによく用いられるものであるので、まず相手コートの深い地点を狙って高く返球することが大切である。

②シャトルの方向に自分の態勢をもっていく。











③目をシャトルから離さず右足をななめ後へ移す、右腕を左肩よりに引く。

④左足から右足へ重心を移行する。

⑤重心を右足にかけ、左足はバランスをとって支える程度にする。上体を後方に少し曲げて右ひじをひく。

⑥右ひじを最大限にひきシャトルとの打点を見定める。腰の重心を後方から前方へと動かし、それと共にひじを移行する。

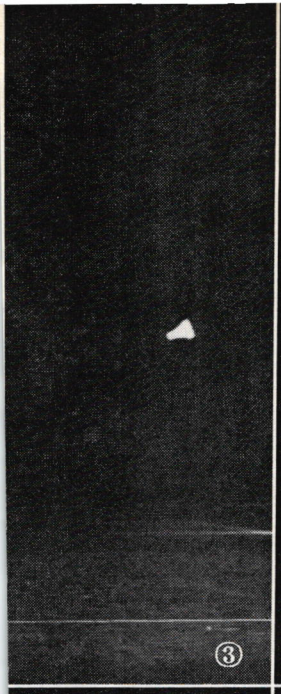
⑦グリップはあくまでも打つ瞬間までリラックスしておき、ひじもショットのときまでは力をためておく、打点はななめ前方。

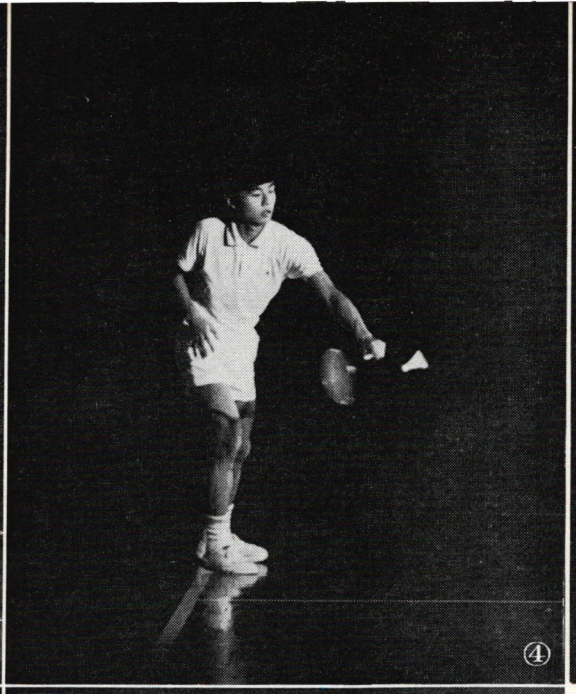
⑧ショットは十分にひじを伸ばしきって肩ひじ、スナップと順にななめ前方の打点でスイングする。

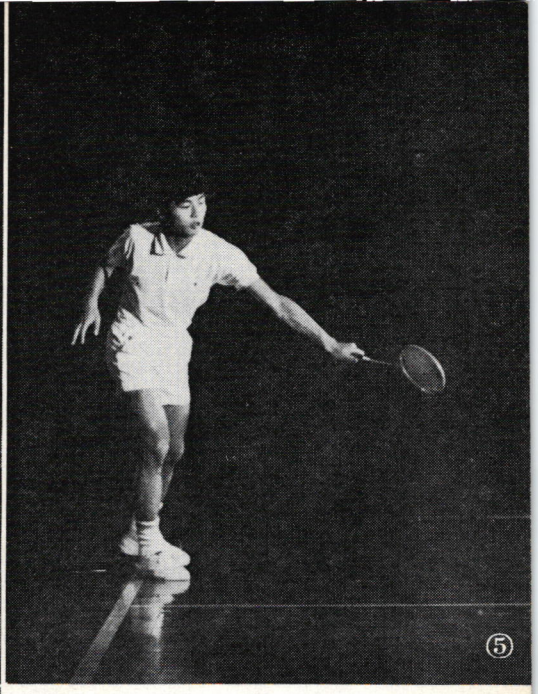
ハイバックで余裕があるときは同じフォームからドロップ、スマッシュを出せると攻撃範囲が広くなり効果が増す。

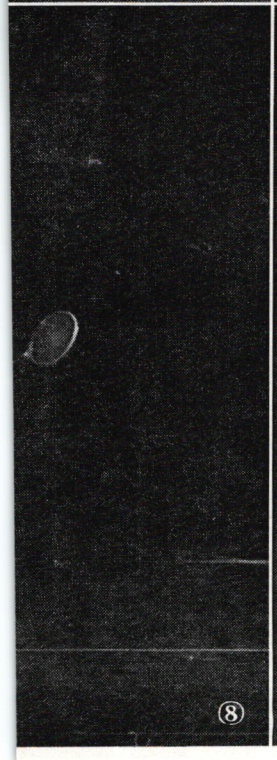
⑨ショット後、脱力し、ホームポジションへ戻る態勢を整える。

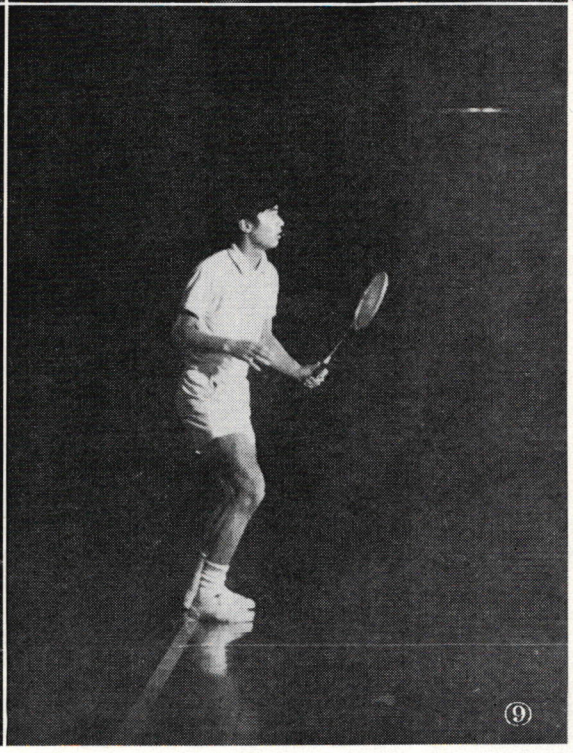
⑩⑨に同じ。


③


④


⑤


⑧

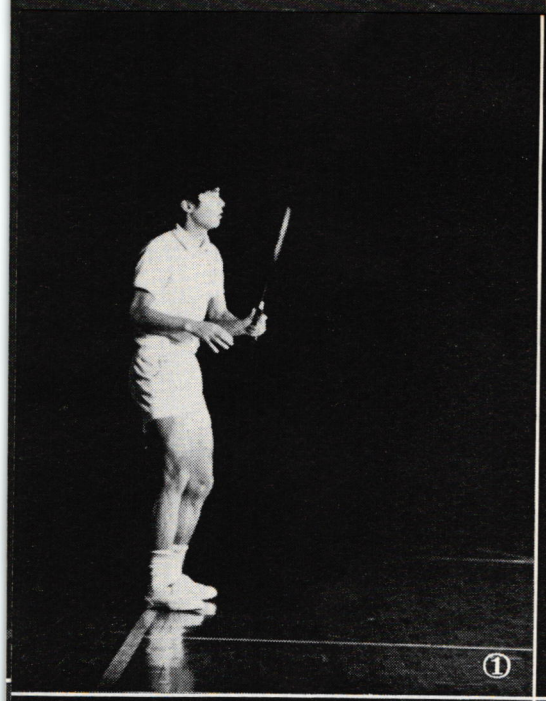

⑨

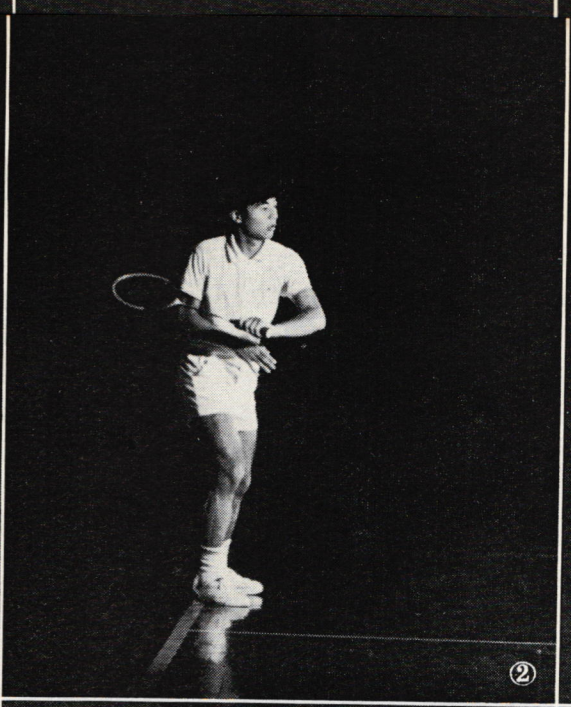
# 目でみる技術講座

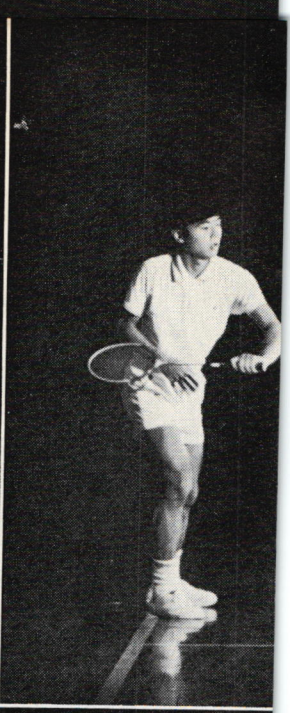
〈ドライブ〉

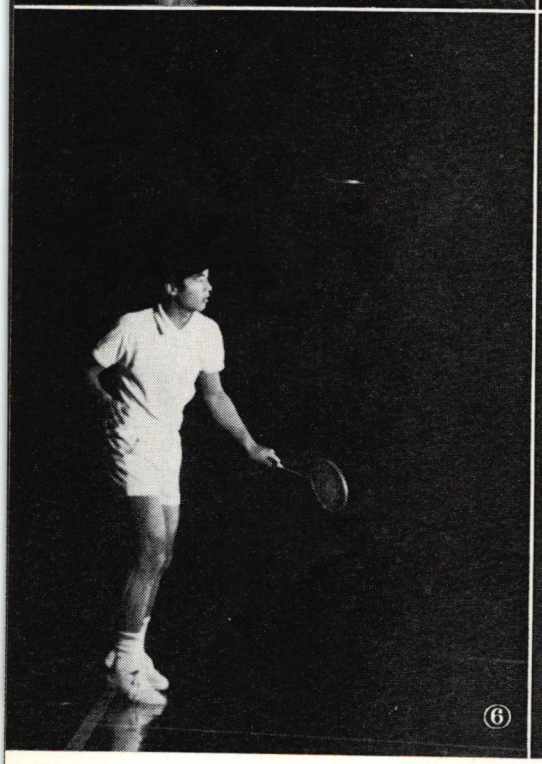
## 解説

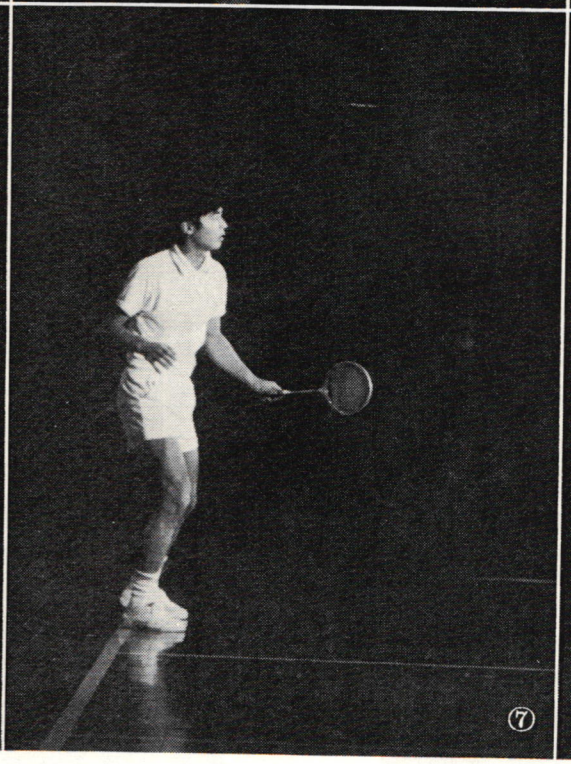
①ドライブの場合は前後の動きより左右の動きが中心の為、スタンスをコートに対して平行に構え、ラケットは常に目の高さに置き相手の球を切り返すことを考えている。

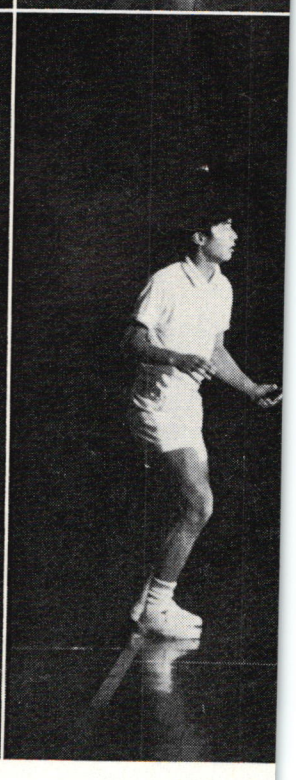




②相手の球のコースが判断できたら、反射的に相手の球に対しラケットを垂直に構える。

③球からは目を離さず、より打点を前でとらえるよう努力する。

④右手で体のバランスを取り、手首を円の中心として打つ、この場合でも球から目を離さず打つ。

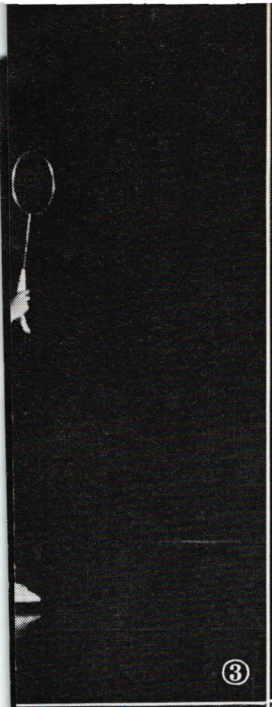
⑤④に同じ。

⑥打ち終えた後でも自分の打った球のコースを見、次の動作に移る為の動作を判断する。

⑦打ち終えた後の判断により、ラケットを上げる動作、この場合は打った球が上がった為にスタンスもネットに平行に構える。

⑧受けの動作から、次の動作の為の移行状態で、ラケットの位置も最初と同じ位置に構える。

⑨ドライブはダブルスにおいて重要なストロークであり、常に攻めの球を打つことが大切である。このストロークの良否により、ダブルスのフォーメーションを生かすことができるかがかかってくる。

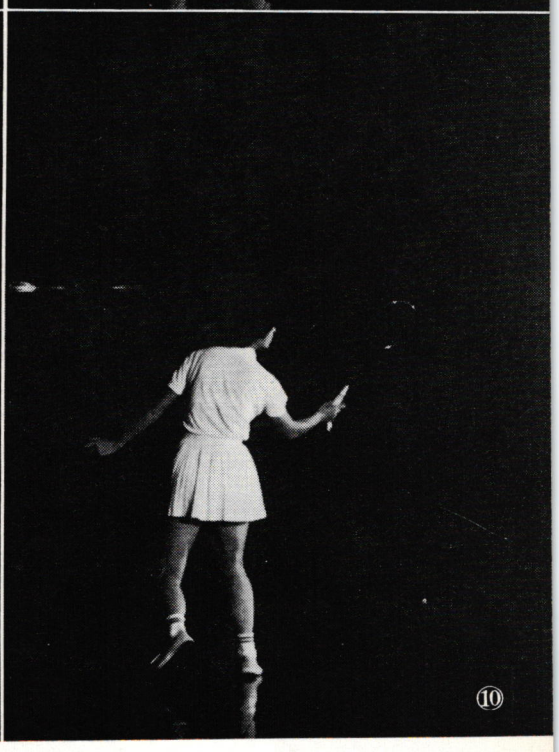

③


④


⑤


⑧


⑨


⑩

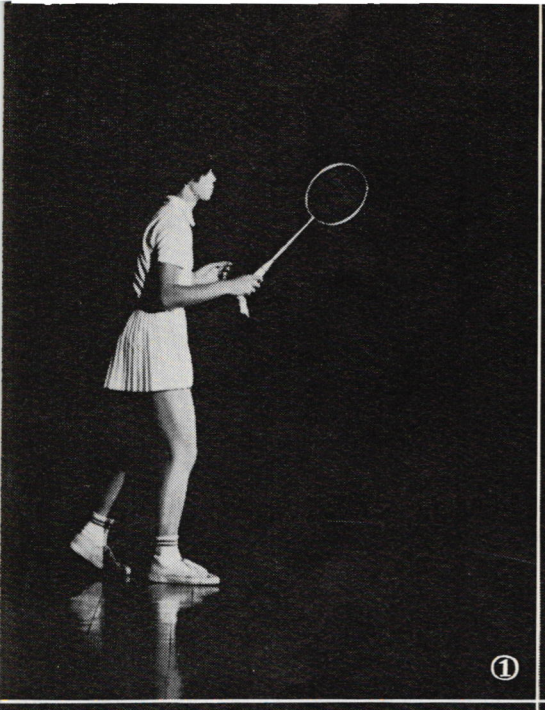
# 目でみる技術講座

〈バックスマッシュ〉

## 解説

①右足に重心をかけてシャトルの飛んでくるのを待つ。

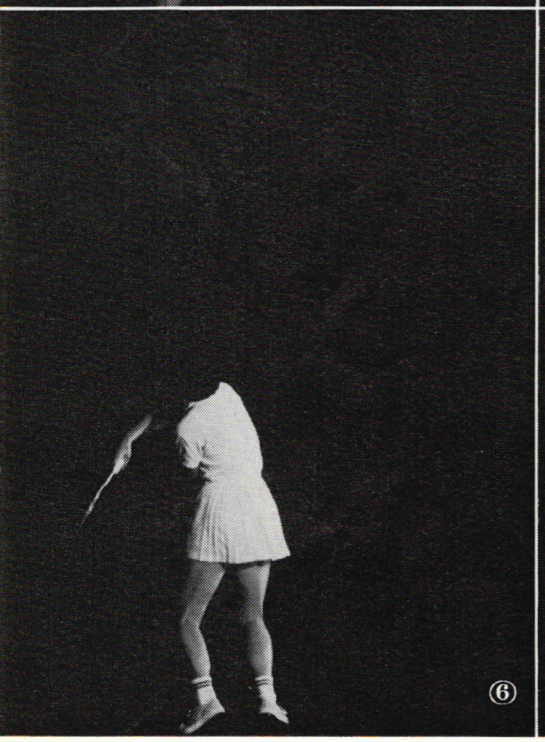
②シャトルから目を離さず、飛行速度、タイミングを素早く判断。

















③先ずシャトルの飛んでくる方向に対して自分の態勢が完全にシャトルの下になるようにする。この時、右腕は少しづつ左側に引き寄せる。ラケットの面はシャトルを直角にとらえなければいけない。

④③に比べ重心が左足から右足に移動し、体がシャトルにより近づいているのがわかる。

⑤ラケットの面が完全にシャトルに対して直角に向いている。

⑥この写真で一番悪いのは振りが余りにも大きすぎることだ。この点は充分に反省しなければならない。

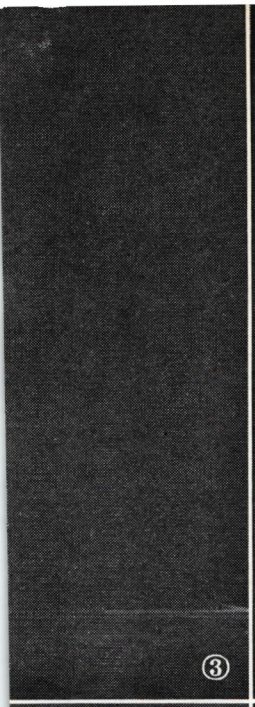
もっとシャープなスウイングなら理想的。

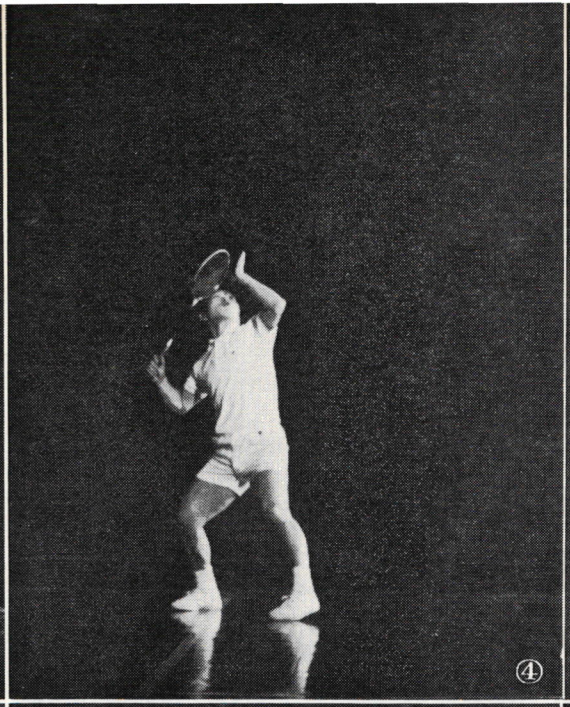
⑦この一連の写真はあまり理想的なフォームとはいえない。

この⑧にしてもバックスマッシュを打つには余り良い態勢ではない。もう少し後を向くか右側に向くかした方が良い。

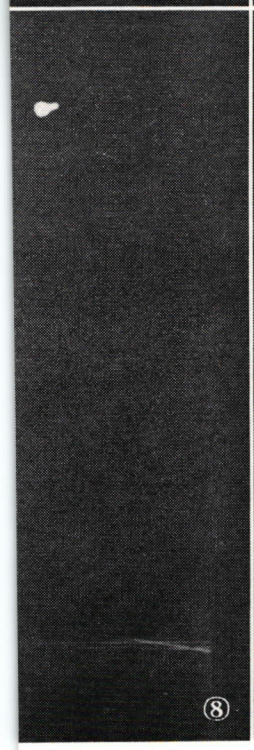
⑧態勢は前と同じ。リストがあと何度かやわらかくきいていたら球にスピードがある。

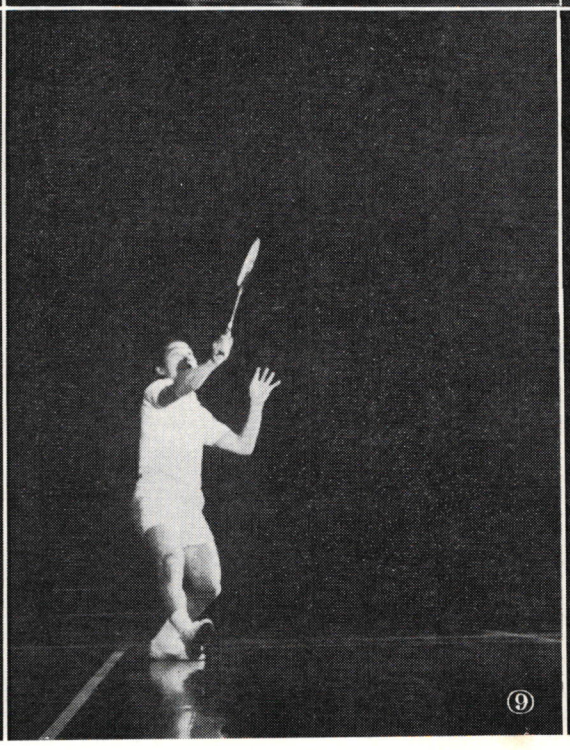
⑨⑩スマッシュを打った瞬間の態勢がいつまでもこのまゝではいけない。いち早く正面に向って次の球を予見しなければいけない。

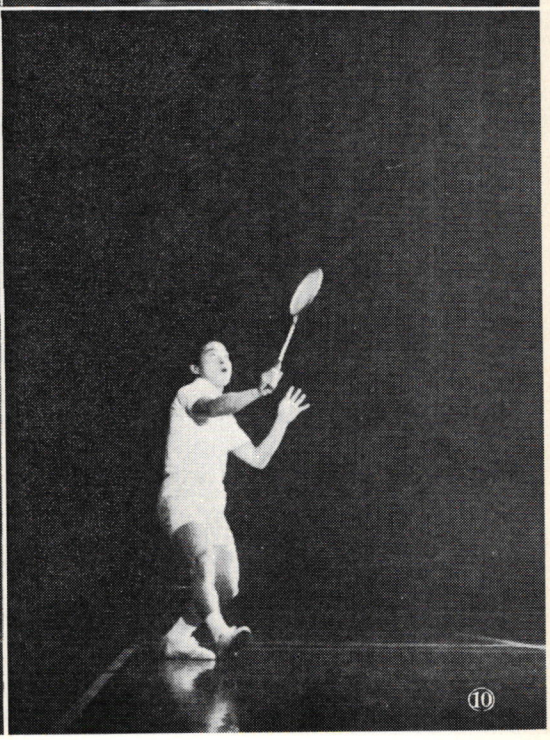

③


④


⑤


⑧


⑨


⑩

# 目でみる技術講座

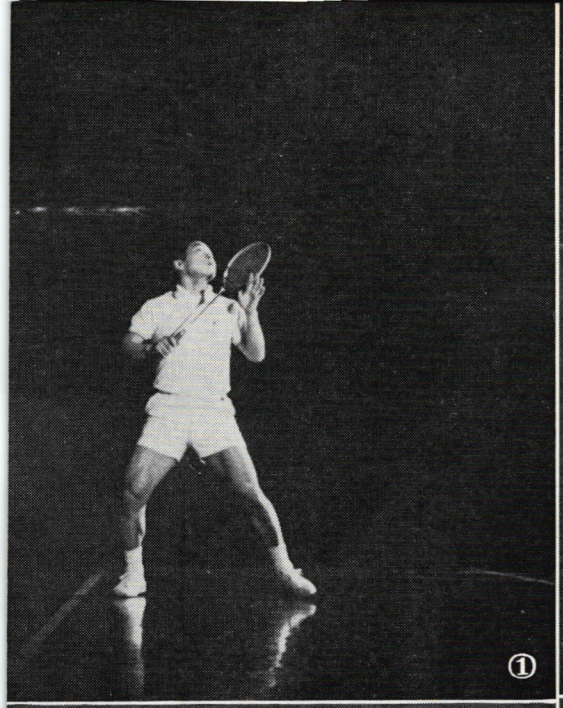
〈ドロップ〉

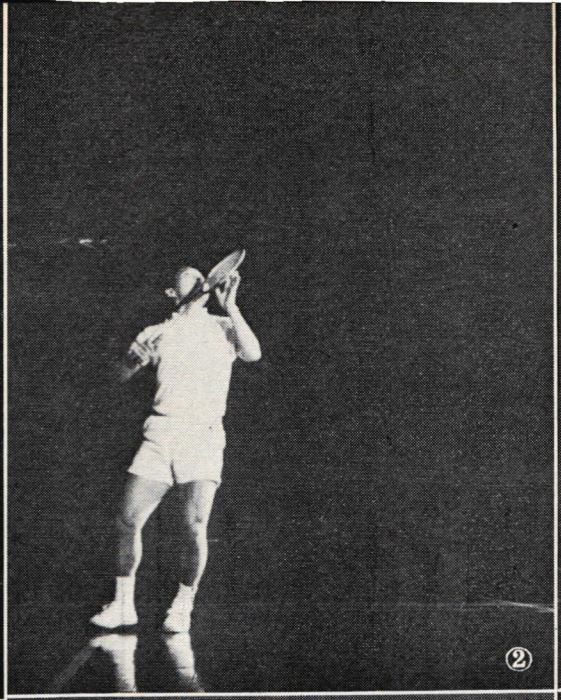
## 解説

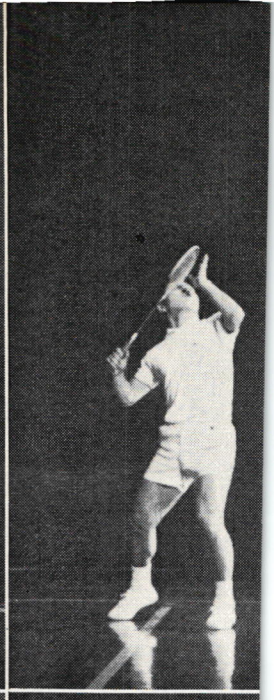
①なるべく早く、球の下、要するに自分が常に打っている打点に入り込むこと。

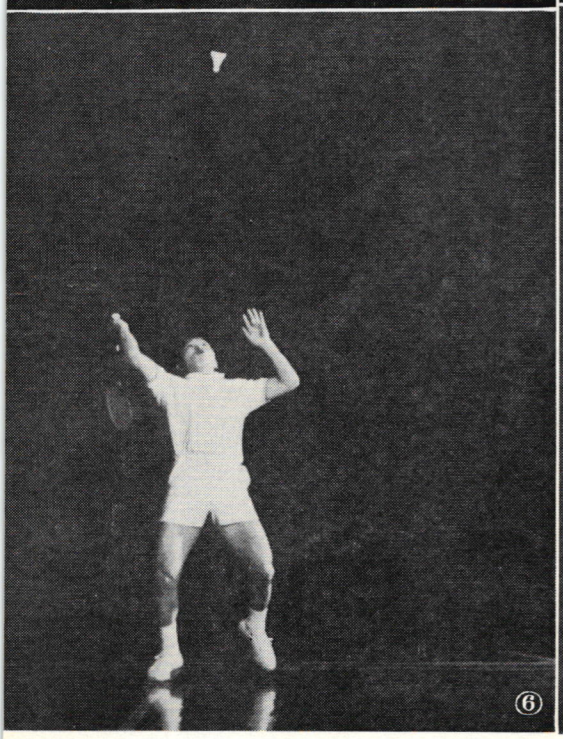
②徐々に左足を引き込み、右足に体重をかける。球を呼び込む感じ。

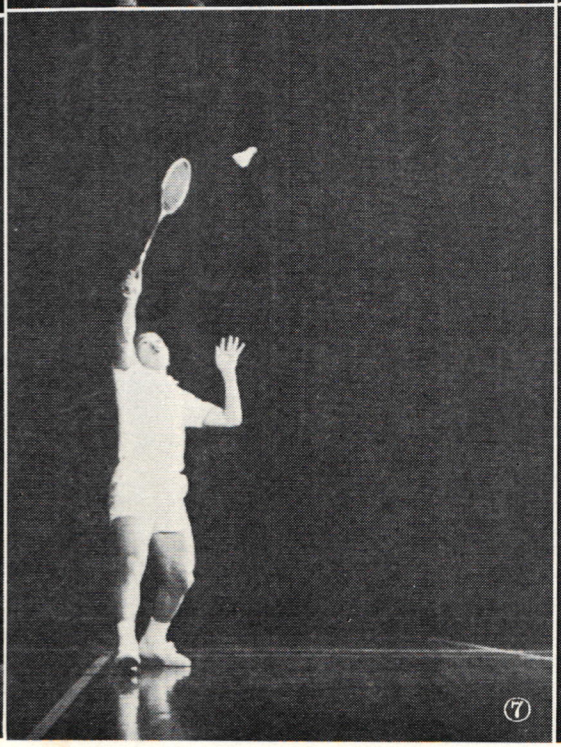
③左手は斜め上バランスを取り右足に力を入れ、左足はさゝえる程度とする。

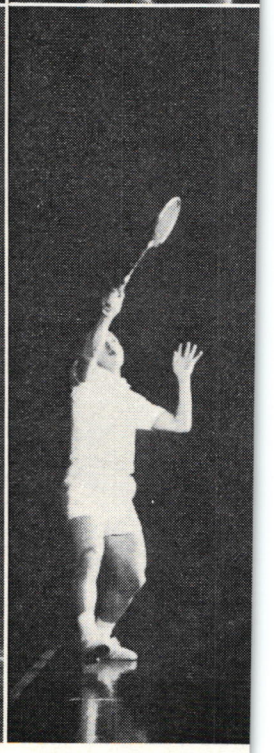




④完全に右足に体重がのりうつる。この際あくまでもスマッシュ、クリヤーと同様のフォームが好ましい。

⑤右足に体重がのりうつり左足が離れヒットの直前左手、左足でバランスをとる。

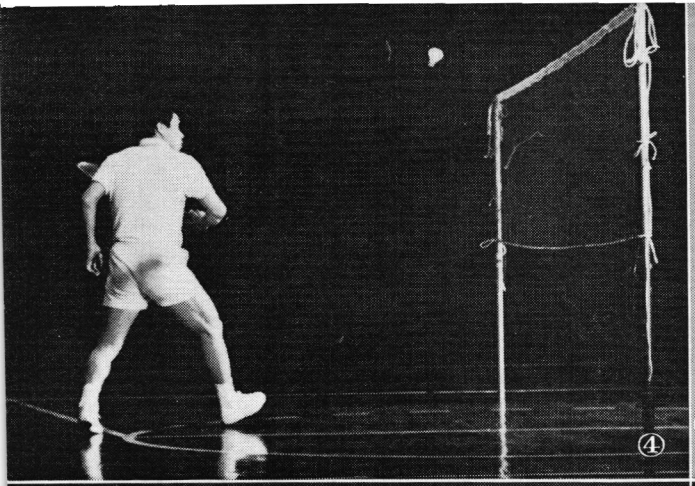
⑥ドロップは高い打点、要するに常に打っているストロークハイクリアと同様の打点で打つ場合もあるが、フェイントをかけ、打点を低くして打つ場合もある。

⑦図によると打点は少々低い。ラケットをかぶせるように、そして打つ感じではなく、のせるような気持で打つとよい。

⑧ドロップは打った瞬間、前方へダッシュをかけぬと相手にネットに早く落されるので、その点はスマッシュ、ハイクリアよりも一段と早く前へ出ること。

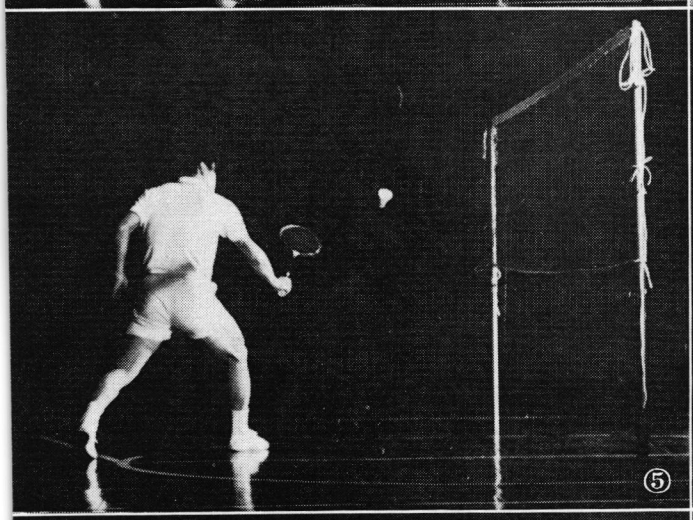
⑨右足が徐々に前方へ出、ラッシングの状態に入っている。

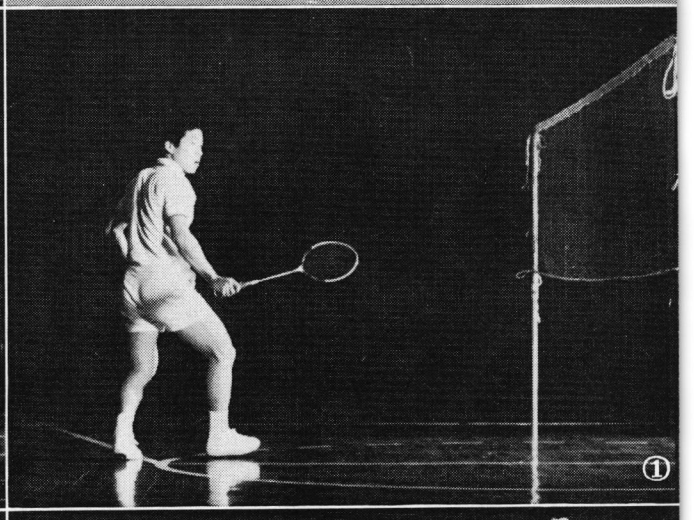
⑩前方へのラッシングをかける瞬間、ドロップはとにかくネットに近く落し、相手をネットの前まで引きずりこみ、ミスさせるのには大事なショットで、ハイクリアと共にシングルスでは大変重要なストロークである。

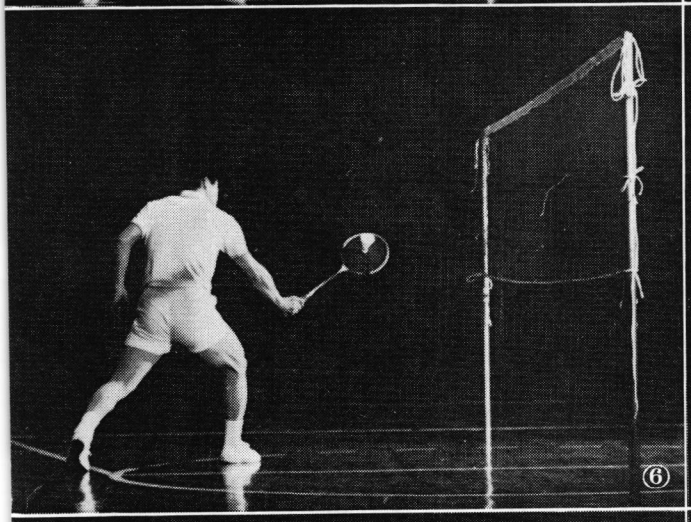


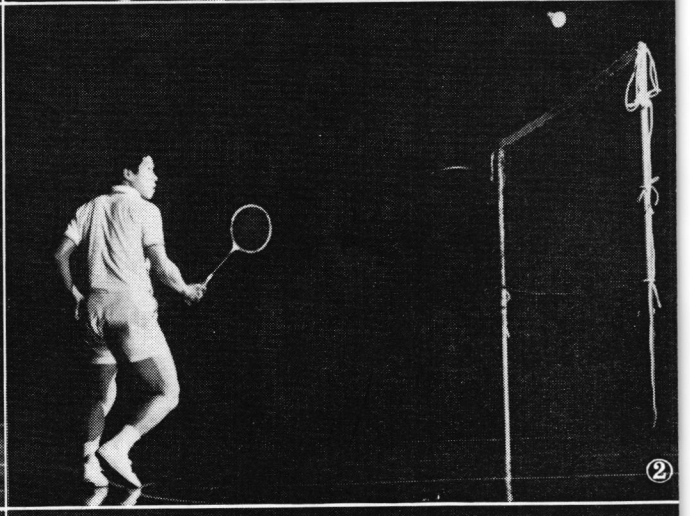

# 目でみる技術講座

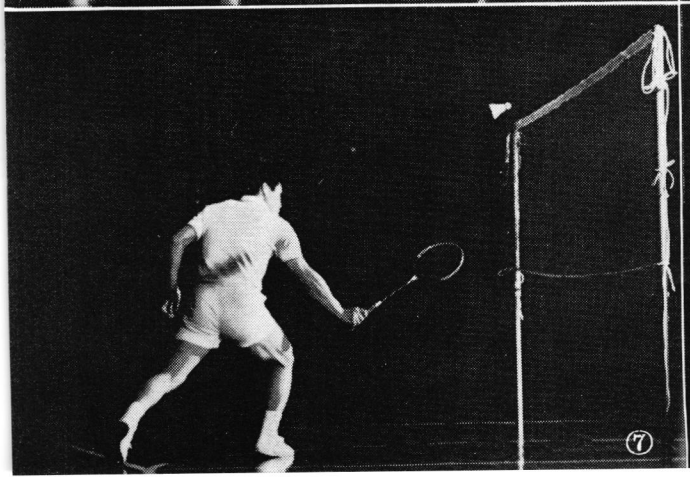
〈クロスショット〉

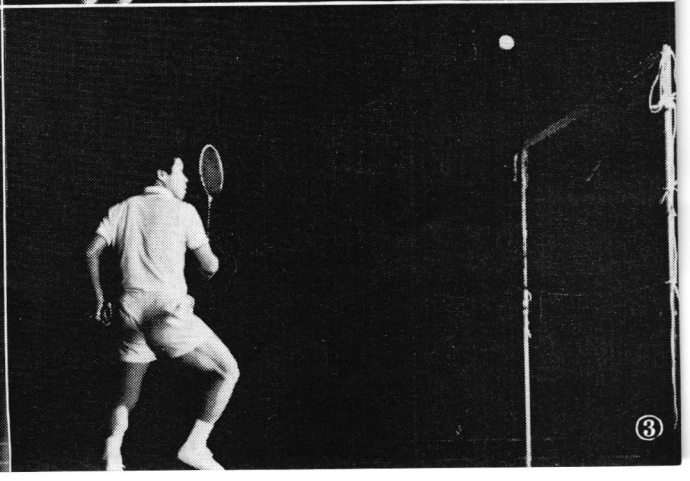


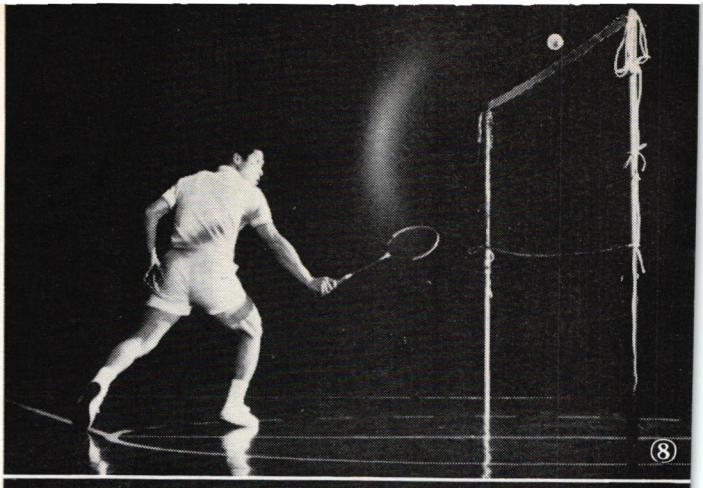



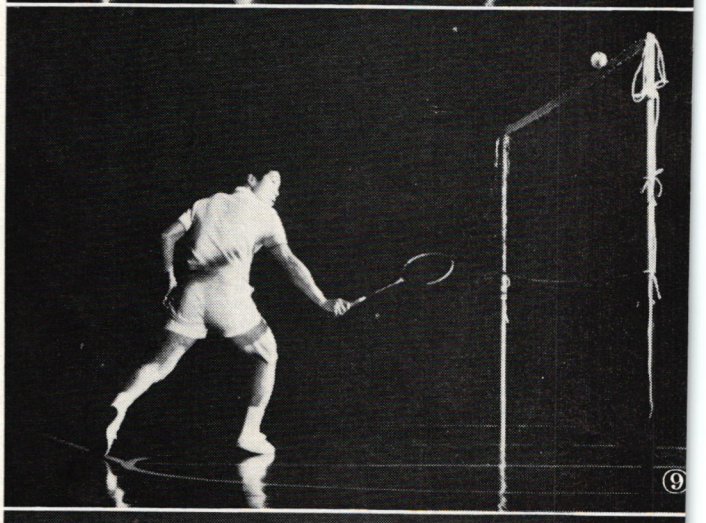



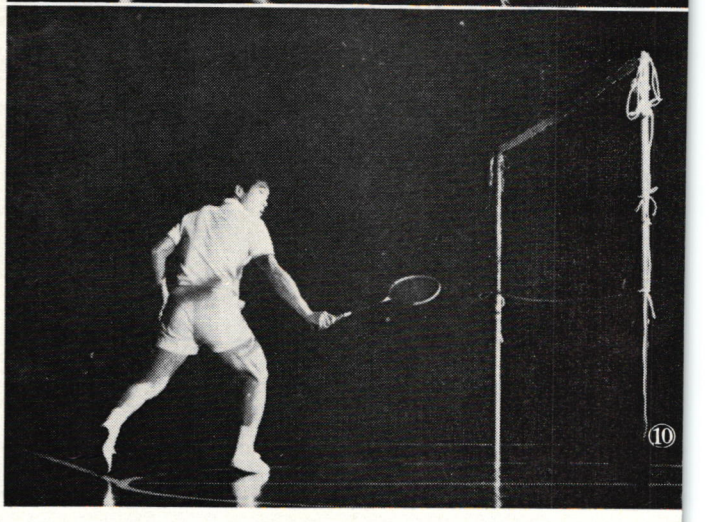




⑧


⑨


⑩

## 解説

①右足を前方へ移動、踏み込む態勢でとる。

②ラケットを幾分まげ、ネットに対して図の如くの角度にしてシャトルを打つ。

③右足を踏み込むが、体はあくまでも前方へ打つごとく見せ相手にクロスを打つことを見破られぬようにする。

④シャトルをラケットで巻きこむ気持でヒットする。あくまでも後方へ逃げると見せかけクロスヒットするのが良い。

⑤クロスショットもネットプレーと同様、一つ間違えば不利或いは決められるので、イチかバチか、または相手が完全に前方へ出るのが遅れたと判断したときヒットするのが効果的である。

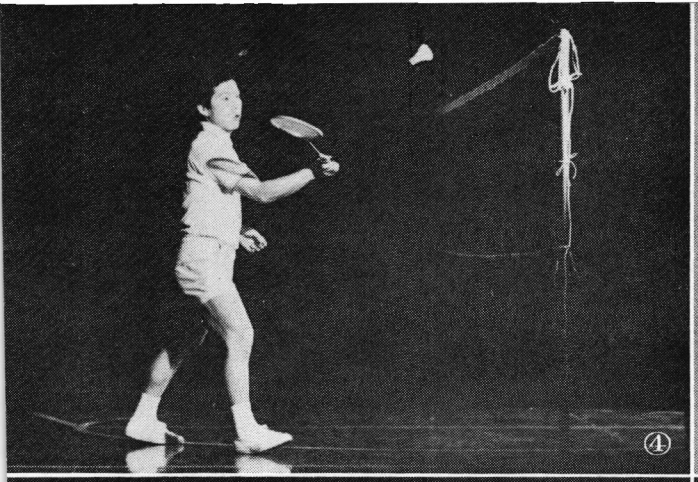
⑥ヒットした後はただちにシャトルが飛んだ方向へ態勢を入れ換える準備をする。

⑦ネットプレーは、ネットインが最高であるので、ネットインを狙う気持でプレーをすること。

⑧常にシャトルを見失うことのないように。

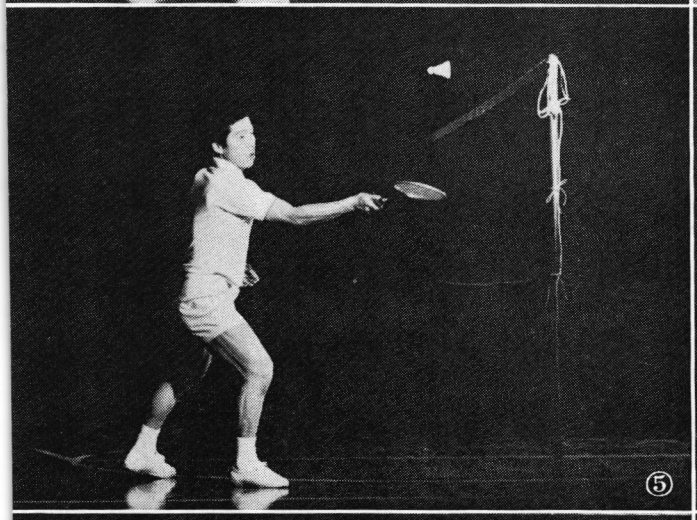
⑨クロスショットはプレイ中、あまり使うことはないが、それだけに練習においてバカにできぬものである。

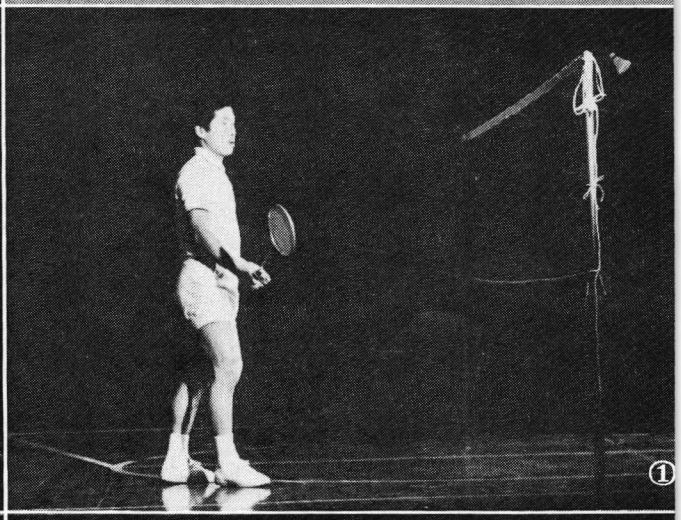
⑩ネットプレーのおもしろ味は一瞬にして有利になったり、決め球となることで、現在のプレーにおいての比重は大である。ネットプレーが未熟な者はやはり大きな飛躍は望めぬ。

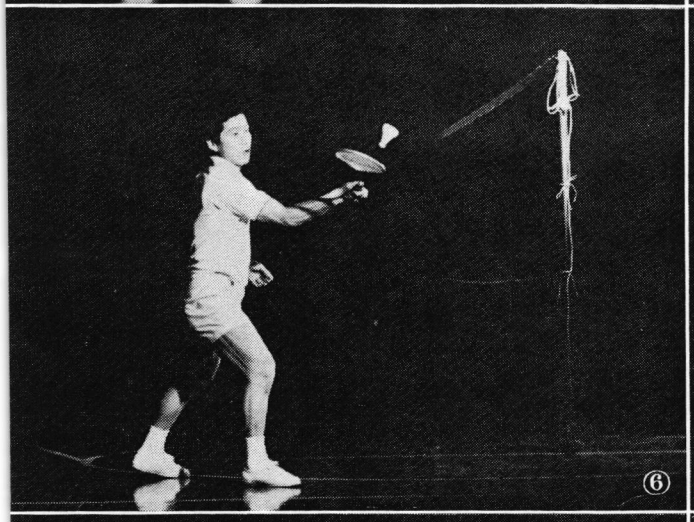


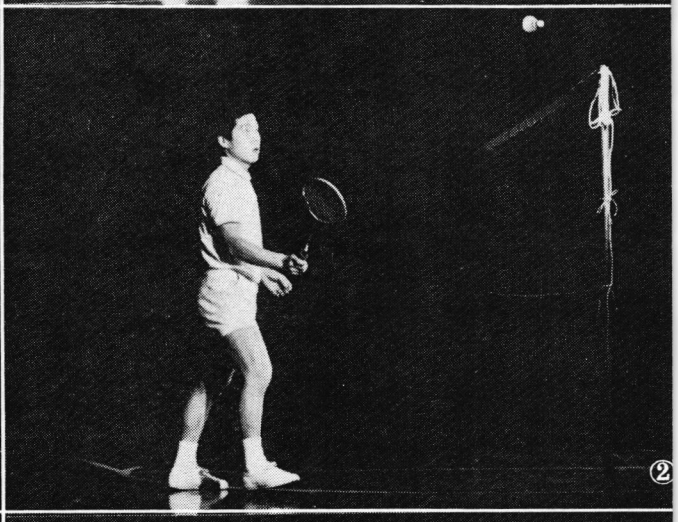

# 目でみる技術講座

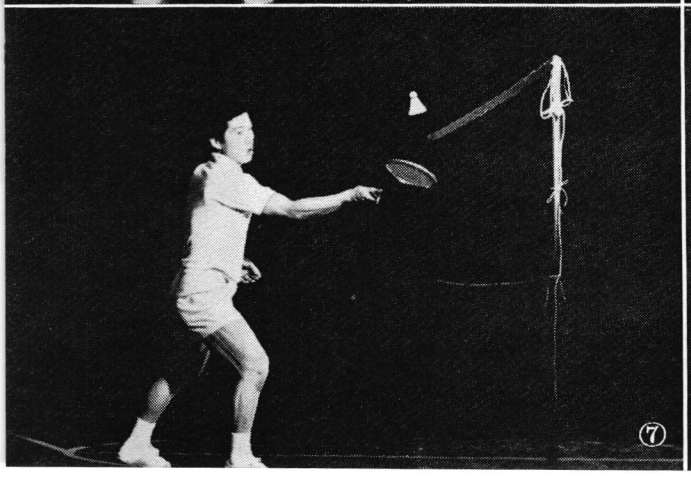
〈ヘアピン〉

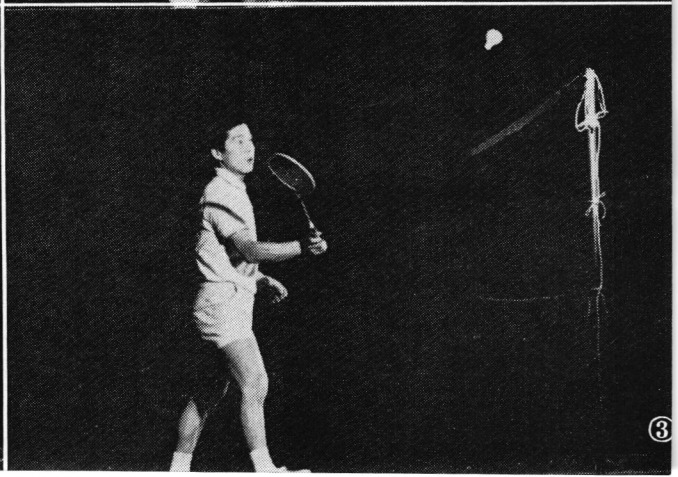


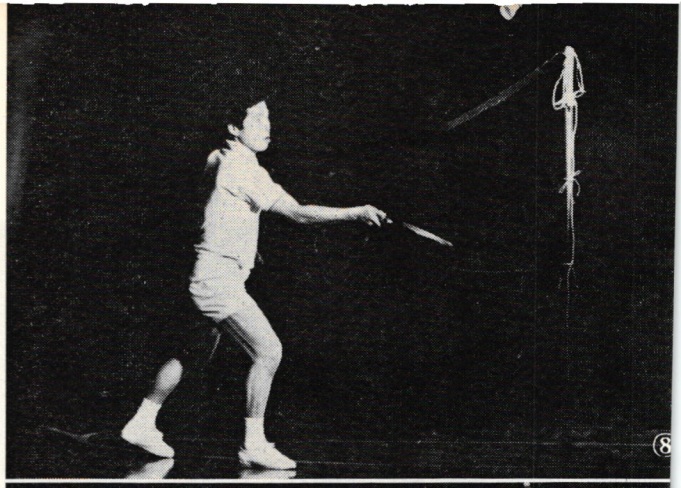



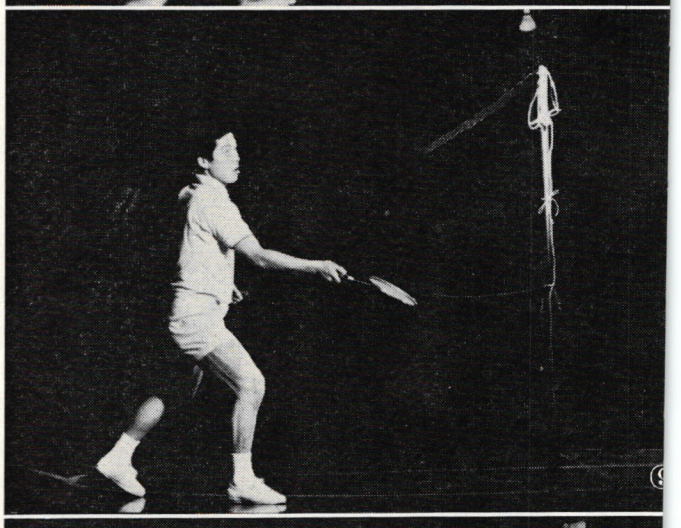



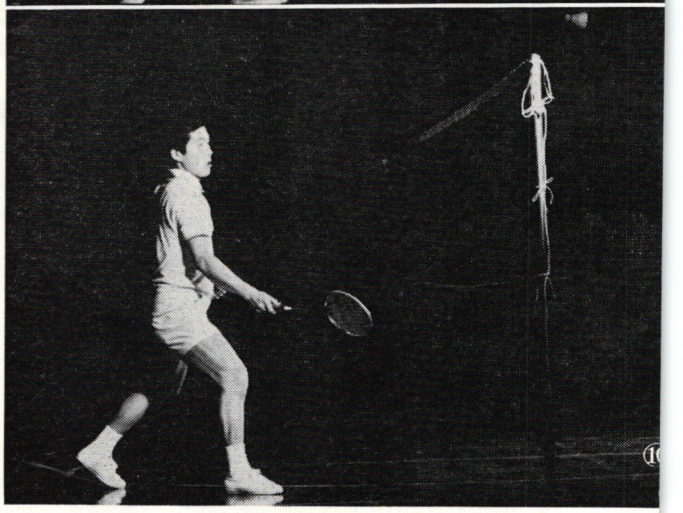




⑧


⑨


⑩

## 解説

①シャトルとネットがどのくらい離れているか素早く見定め足の位置を決める、なるべく高い所でとらえるのが良い。

②シャトルを良く見、軸足を心持ち前方へ押し出す。ラケットはやや曲げてかまえ、身体はネットを正面に向って立つ。

③ネットは打つのでなく、押し込むような感じで打つのが良い。手首をやわらかく、もちろん肩は力を入れないこと。

④常にネットを置くと見せかけ、後方へと相手の逆をつくこと頭に入れる。要するに、フェイントをかけ、相手がとまどいを見せるのは、やはり高い所でネットすることだ。

⑤良いネットが入った場合は、ネットへつき、オーバーされると思った場合は、後へ体重を移動する、良いヘアピンが入った場合はオーバー出来ない。

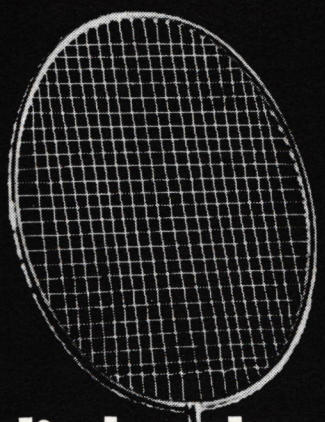
⑥いかなる場合にも、シャトルが垂直となるまで待つのが好ましい、ということは、シャトルが横を向いていたり、逆な場合、コントロールが非常に難かしい。

⑦余裕がある時は（相手がネットより遠くにいる時）なるべくヘアピンを心掛け、ネットすれすれに落すと良い。

⑧ネットプレーはうまく入ればエースとなるし、又、一つ間違えば決められるといった、非常に厳しいプレーで繊細さが要求される、日頃の練習において力を入れてすることが必要。

⑨この写真を見るとシャトルがネットの真上に上がっている。即ちヘアピンの好例。

⑩要するにネットプレーはシングルスの場合、確実に入れることを、ダブルスの場合、速く落すことを心掛けること。



世界選手権に輝やく

CARLTON
SHUTTLECOCKS

ラケット

値下断行!!

# THE light-HEADED RACKETS

Game coming up? Then celebrate it light-heartedly-with a new Carlton!



MATCH IT WITH THE SUPERB
CARLTON INTERNATIONAL SHUTTLE

Made from crisp nylon, with perfect turnover at the net and correct speed in the smash.



CARLTON PUT THOUGHT INTO SPORT.

株式会社 メトロ

発売元

東京都千代田区外神田5－6－4
☎（03）833－3 6 6 1（代）
大阪市南区長堀橋筋1－32
☎（06）251－0 5 1 6

## 日本を支える選手たち（混合ダブルス）



山本洋彦（北辰電機）
高橋とも子（北辰電機）



鈴木健二（電々東京）
阿久津まさ子（電々東京）



杉田　博（立野高教）
杉田良子（コロムビア）

# 日本を支える選手たち

タイトルを大上段にふりかぶって、つけてみたが、スペースの関係で、当初で考えていたように「全日本総合選手権出場者をもれなく収容する」プランはあえなく、ご破算となった。

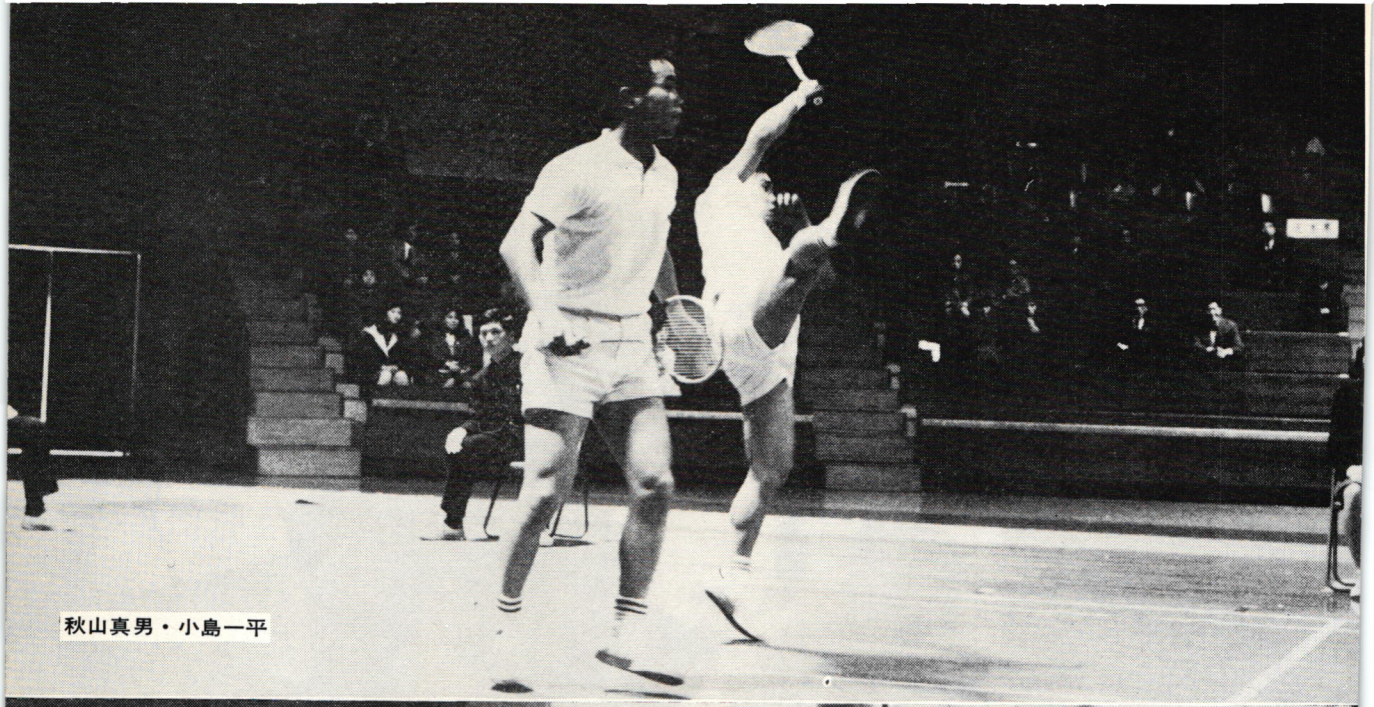
そこで、いわゆる第一線級だけでなく、ふだんは、なかなか登場してもらえない選手を、なるべく入れるように試みたのだが、結局はごらんのとおり。

「うーん、選手が多いなあ。これじゃ、団地の一室に教室の生徒をつめこむようなもんだ」とは、編集者。もれたプレーヤーの各位には、深くおわびするしだい。

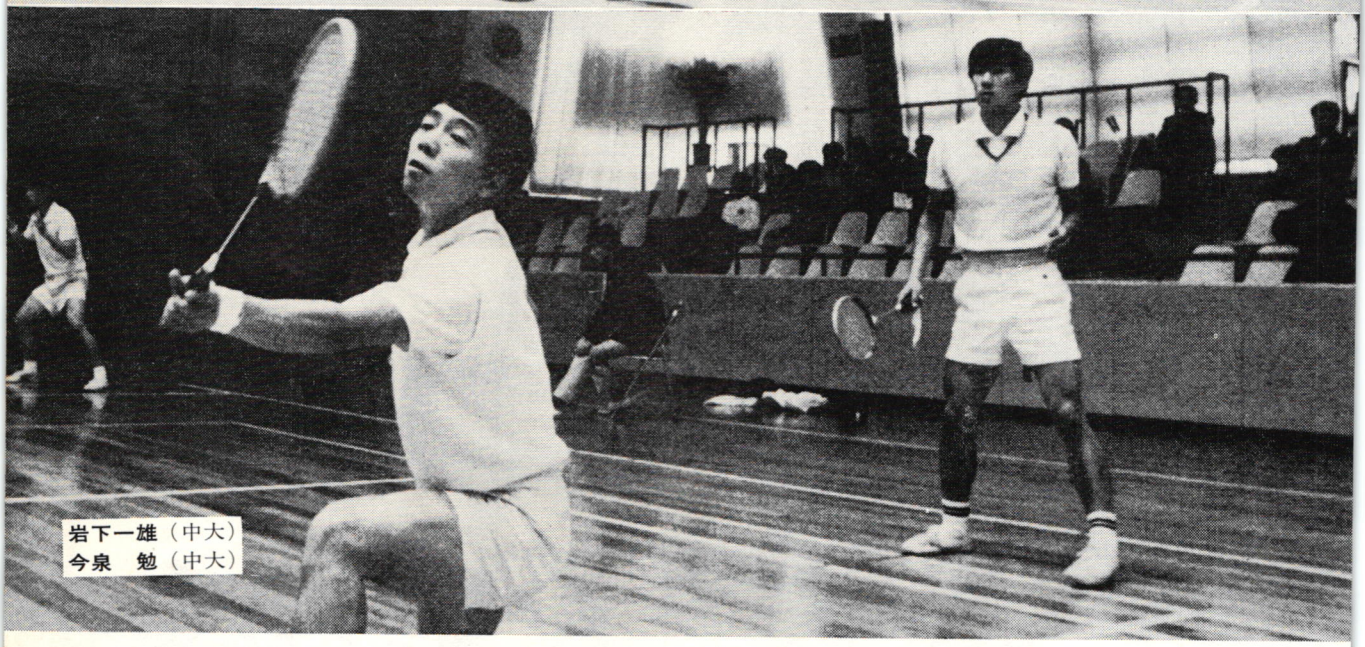
撮影・松井亮磨（MGスタジオ）
山田真市



森谷喜久男（電々東京）
奈良岡洋子（電々東京）



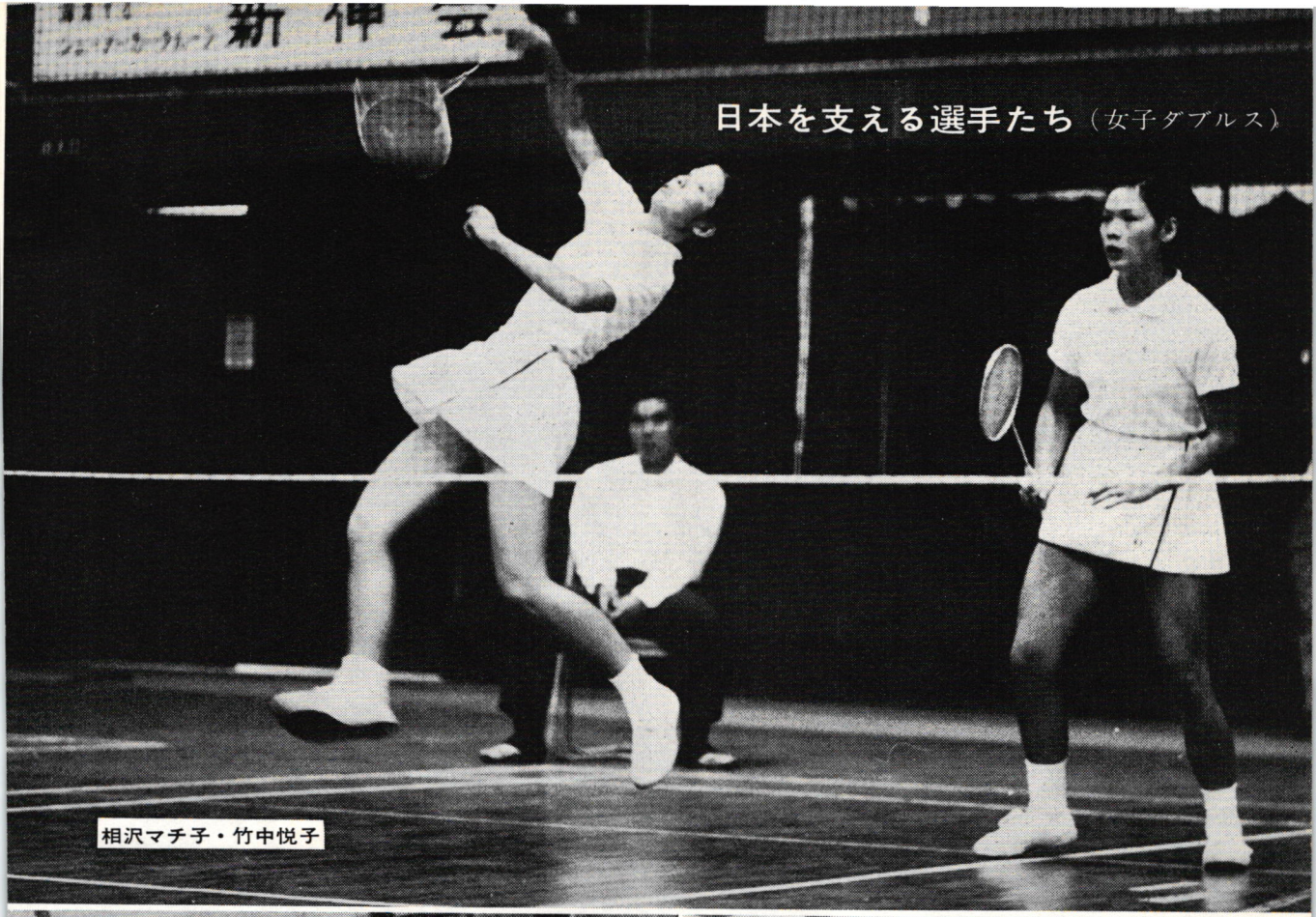
秋山真男・小島一平



岩下一雄（中大）
今泉　勉（中大）



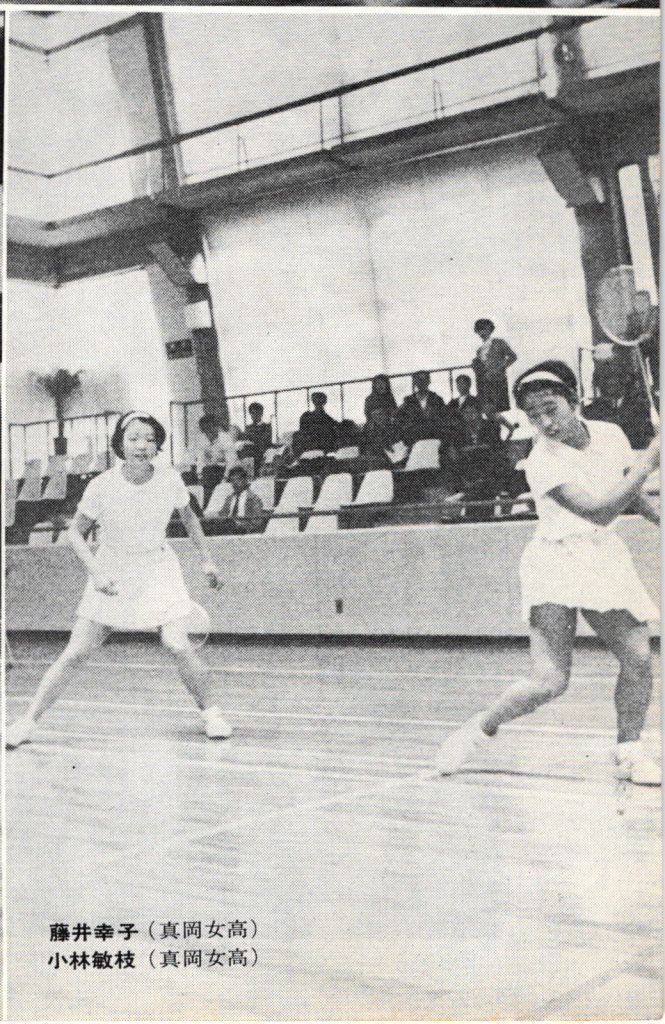

## 日本を支える選手たち（女子ダブルス）



相沢マチ子・竹中悦子



池田栄子（三菱電機伊丹）
篠山和江（三菱電機伊丹）



藤井幸子（真岡女高）
小林敏枝（真岡女高）

# 公　　告

日本バドミントン協会では総会の決定に基き、昭和45年度の協会検定、審査合格および協会推奨の用具を、本欄のように決めましたので、ここにお知らせします。

昭和45年４月１日

日本バドミントン協会

## 昭和45年度日本バドミントン協会審査合格用具推奨用具

| ラケットの部 | 銘柄名 | 会社名 | 摘要 | ウェアーの部 | 銘柄名 | 会社名 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ラッキーセブン張上（#7） | 株式会社ヨネヤマラケット | | | (男子)#106ショートパンツ | 株式会社ヨネヤマラケット | |
| | スリーエート張上（№8） | 〃 | | | (男子)#107シャツ | 〃 | |
| | クインハートフレーム（#1,000） | 〃 | | | (男子)#105ショートパンツ | 〃 | |
| | カレッヂエイトフレーム（#3,000） | 〃 | | | (男子)#108シャツ | 〃 | |
| | カレッヂエイトデラックスフレーム（#4,000） | 〃 | | | (女子)#203ミニスカート | 〃 | |
| | ファイブエースフレーム（#5,000） | 〃 | | | (女子)#204シャツ | 〃 | |
| | ファイブエースデラックスフレーム（#6,000） | 〃 | | | (女子)#202ミニスカート | 〃 | |
| | レディエースフレーム（#6,500） | 〃 | | | (女子)#205シャツ | 〃 | |
| | アルミナエースフレーム（#7,000） | 〃 | | | (女子)#200スカート | 〃 | |
| | アルミナエースデラックスフレーム（#8,000） | 〃 | | | (男子)#104ショートパンツ | 〃 | |
| | キングダイア（#2,000） | 〃 | | | (男子)#109シャツ | 〃 | |
| | コールドキング | 株式会社諸江製作所 | | | (女子)#206シャツ白 | 〃 | |
| | ダンロップ | 〃 | | | (男子)№500 リースバドミントンシャツ | 河崎ラケット工業株式会社 | |
| | キングクリッパー | 〃 | | | (男子)№533 リースバドミントンショートパンツ | 〃 | |
| | キングメイト | 〃 | | | (女子)№500 リースバドミントンシャツ | 〃 | |
| | シルバーデラックス | 〃 | | | (女子)№592 リースバドミントンスカート | 〃 | |
| | ハイ・スピード（№2） | 大阪合繊株式会社 | | | チャンピオンバドミントンシューズ | 〃 | |
| | ハイ・トーマス（№3） | 〃 | | シューズの部 | バドミントンシューズ | 株式会社ヨネヤマラケット | |
| | フィアレス（№10） | 〃 | | | アタックシューズ | 株式会社諸江製作所 | |
| | フェニックス・インペリアル（№30） | 〃 | | | アタックデラックス | 〃 | |
| | エクセレント（T-1） | 〃 | | | | | |
| | ブルーリース（№B-6P） | 河崎ラケット工業株式会社 | | | | | |
| | エバーウィン（№206） | 〃 | | | | | |
| | カアルトンオールスチールラケットスリーポイントセブン | 日本カアルトン株式会社 | | | | | |
| | №8 ウィンナー | 株式会社トヨダスポーツ | | | | | |
| | №1,000 ニューミニ | 〃 | | | | | |
| | №3,000 ブルー | 〃 | | | | | |
| | №4,000 アルバート | 〃 | | | | | |
| | №5,000 ニューアルバート | 〃 | | | | | |

ラスト・コーナー

**年間講読者はご招待**

新春を飾る第二回全日本女子チャンピオンズ・トーナメントが、前号でお知らせしたとおり一月十日、東京・駒沢屋内体育館で開かれます。

出場者は前年（70年）の主要大会タイトル保持者、国際大会で好成績をあげたもの、が基準で、東京12チャンネル・テレビからの指名招待です。

次期ユ杯の決戦（72年6月）まで、あと一年半。日本チームの候補ともいうべき、チャンピオンズ・トーナメントの出場者の熱戦にご期待下さい。

出場予定者は

高木紀子（東海女子短大教）
竹中悦子（ヨネヤマラケット）
相沢マチ子（同）湯木博江（日女体大）高坂薫（青山学大）高崎弘子、石崎茂子（東大阪短大）
陣内裕子（成安女学）

シングルスのみの勝ち抜きトーナメントで行なわれます。

なお、本誌の年間購読者のうち、東京およびその近郊の方々には、招待券を別途、お送りしますので、お友達をお誘い合わせの上、ぜひお出かけ下さい。

## 編集後記

本誌もいよいよ、足かけ三年目にはいった。

時々、発行日が予定より遅れることがあっても、なんとか続けてこられたのは、これ、ひとえに愛読者の皆々様のご支援、多忙な中をさいて、健筆を寄せられる関係者各位のご協力のたまもの。誌上を借りて、厚く御礼申し上げます。

○…本号は予告どおり、写真だけの特集。当初は連続写真ほか、一般記事をと考えたが、紙面の構成を考えて、全部、写真一色に踏切った。

日本バドミントン界はじまって以来の？〝連続写真〟は、いかがでしょうか。解説は一項を除き、すべてモデルとなった選手諸君にやってもらった。

この写真、必ずしもベストのフォームではない。その点も含めて、ご研究下さい。

○…表紙はア大会合宿中の撮影（カメラ・山田真市）場所は日バ協会のある岸記念体育会館屋上。後方にみえるのは五輪プールだ。あいにく曇り空、風が吹いていたのが残念だった。

**《次号予告》**

新年号を写真特集としたので次号は全日本総合、インドネシア遠征、アジア大会と三つのビッグ・イベントの特集総まくりとなる。

今号が読者の手元にとどくころには、アジア大会も終わり、選手団も帰国しているわけだがこの記事を書いている時点では果して日本がいくつ金メダルをとれるか、編集部もドキドキしている。

写真グラフも当然、この三つの大会から。しかし、インドシア、アジア大会については、選手団もぎりぎりの人数で忙しく、どれだけ撮影できるか…。

【バドミントン界】 第17号
（技術特集号）
昭和45年12月25日印刷
昭和46年1月1日発行
編集兼発行人 川端昇市
発行所 東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
電話 四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三一一九三
印刷所 東京都江東区永代一の五の二
有限会社 和田印刷所
特価 一部 百五十円



YONEYAMA RACKET

# スマッシュ!



NO.8000

*Alumina Hy-Power*

アルミナハイパワー

## アルミフレームに　アルミシャフト採用!!

**軽い** ― アルミニウム合金の比重は約2.7で、銅の8.9や鉄の7.9に比べて⅓に過ぎず、非常に軽くリストの弱いプレーヤーに向きます。

**強い** ― 特殊製法によるアルミニウム合金をラケットフレームに用い、鋼鉄に匹敵する強さが発揮されました。

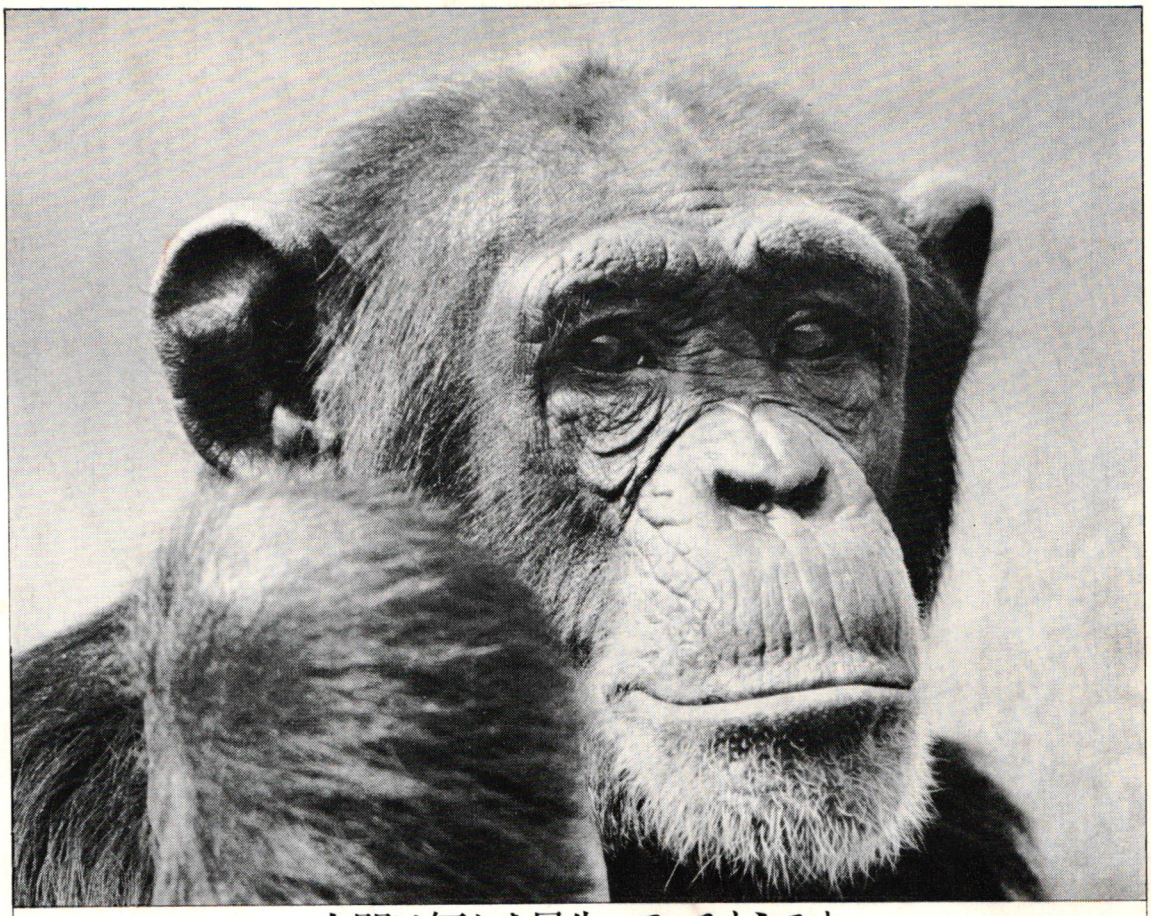
**弾む** ― 木製、スチール製に比較して柔軟性、反撥力が抜群。打球の初速が早く、更に加速が増加してすばらしいスマッシュが打てます。

YONEYAMA

株式会社 ヨネヤマラケット

全国運動具専門店でヨネヤマのラケットと御指定下さい。

月刊「バドミントン界」第十七号
昭和四十六年一月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認許
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価百円



人間は何かを見失っているようです

スコーレ

●scholeギリシャ語●leisure(余暇)rest(休息)ease(ゆったり)の同意語school(学問)の語源―岩波哲学辞典より
●古代ギリシャ人はスコーレをすべての文化の根源と考えていた●スコーレは最も人間的な時間人間的な生活

人間も都市も砂漠化している現代

あなたにとって幸福とは、いったい何でしょう。GNP世界第2位の裕福さでしょうか。ヒッピーたちのもっている、あの自由な精神がそうでしょうか。この索漠とした現代、とにかく考えさせられます。

豊かで、しかも人間らしい生活を

スコーレとは、物質文明と精神文明の調和。つまり、豊かな人間社会のための環境づくりと豊かな人間生活のための物づくりにあります。テイジンが拡大していく、豊かでしかも人間性を尊重した世界です。

人間を愛し
人間を考え
人間に帰ろう
スコーレ
テイジン
TEIJIN 帝人株式会社

●スコーレを拡大するテイジン
天然資源開発　アフリカや南北アメリカで低硫黄石油を開発中。日本のエネルギー資源確保のため
石油化学事業　世界中の合繊生産に貢献。ポリエステルをはじめ、各種の合繊用原料の生産と輸出
合成繊維事業　豊かな生活環境、新しい生活行動パターンの創造。ファッションから産業資材まで
海外事業　人類の衣生活充実。世界10余か国へ進出。ポリエステルなどの生産技術で各国に協力
情報産業　知識社会・情報社会の拡大。ビデオ、X線、コンピューターのベースフィルムを生産
プラスチック事業　未来の生活を支えるエンジニアリング・プラスチックや汎用プラスチックの開発と生産
食品事業　健康社会の推進。理想的な食生活のための食品づくり。牛肉エキス、植物蛋白など
住宅関連事業　人間性を尊重した住宅空間、創造的な空間の建設。ハウジングからレジャー分野まで